



## ママぱれっとの視点。

この事業は、平成30年度 独立行政法人福祉医療機構（WAM）社会福祉振興助成 モデル事業として助成を受け、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、3歳児以下、特に0歳児の発達課題を丁寧にみる「親子の居場所づくり」を行うために、一般社団法人チカクが企画運営にあたりました。

障がいのあるなしにかかわらず、はじめての赤ちゃんとの暮らしで余裕のないママたちに伴走し、勇気づけ、応援していくために、現場の支援者自身が0歳児の心と体の発達に「視点」が持てるよう、専門職と一緒にさまざまな側面からともに学び、親子に寄り添いながら生活圏でネットワークを形成するため、次の二つの事業を行いました。

- <事業A>** 親子に寄り添いながら、支援者もいっしょに乳幼児の発達支援を学ぶ  
「ママと赤ちゃんの居場所」
- <事業B>** 子育て支援にかかわる専門職・支援者向けスキルアップ研修  
およびネットワーク会議

先進的な事例に取り組む講師・アドバイザーを全国各地から招いた<事業B>では、県内外の支援者、育休中の専門職・支援者が学び、相互にネットワークを深めました。<事業A>では、準備も含めて1年間、この事業のためにご尽力いただいたアドバイザーのお二人に学び、スタッフ自身がそれぞれの役割・立ち位置を調整しながら、よりよい環境を作り出すことに努めました。

7月の豪雨災害による影響もあり出足は遅れましたが、同時期に開催されていたいくつかの事業にスタッフを派遣、事業Aのプログラムを肉付けする<連携講座>ととらえました。

以上、事業の概要は次のページの一覧でご覧いただけます。このまたとない経験を多くのみなさまと共有できますよう、ここに「ママぱれっと 資料編」としてまとめました。ぜひ、ご高覧いただき、ご意見いただくことができましたら幸いです。

2019年3月31日

一般社団法人チカク 代表理事 赤木美子  
ekinotikaku@gmail.com

## WAM助成 事業A

ママぱれっと ママと赤ちゃんの居場所	開催 頻度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		●●●	●●●	●●●	●●●●	●●●●	●●	●●●●	●●●●	●●●●	
<b>0歳さんの日</b> 時 間：10時～12時 対 象：0歳 助産師：村口裕美 《要申込》											
赤ちゃんとの暮らし、離乳食、排泄、睡眠など、なんでも、ベテラン助産師村口先生に聞いてみよう。さまざまな月齢の子のママたちとお話するのも、とても楽しい。赤ちゃんのママにおすすめの時間です。 <b>★狙い   0歳児の育児【暮らし】の立ち上がり支援</b>		日程	24	21	26	24	21	13	23	20	6
<b>赤ちゃんとおぼろ</b> 時 間：10時～12時 対 象：0-1歳 作業療法士：引野里絵 《要申込》											
日々の遊びは赤ちゃんの発達にとっても大切。でも、赤ちゃんとの遊び方がわからないママも多いのです。乳幼児の発達に詳しい作業療法士・引野先生に、おうちでできる遊びのアイデアを学びましょう！ <b>★狙い   0-1歳児の育児【遊び】の立ち上がり支援</b>		日程	27	31	19	18	29	12	31	28	14
<b>子リスのひろば</b> 時 間：10時～12時 対 象：2-3歳 作業療法士：引野里絵 《要申込》											
お友だちと仲良くできなかつたり、言うことを聞かなくて叱ってしまうけど、あとで後悔することってありませんか？ お子さんにあったかわり方、一緒に考えてみましょう！ <b>★狙い   2-3歳の気軽なプレ療育・発達の悩み相談</b>		日程			20	17	28		30	27	13
<b>アラ40ママのひろば</b> 時 間：10時～12時 対 象：0-3歳 プレママ可 助産師：村口裕美 《要申込》											
日ごろ言えない悩みも同年代なら言えるし、気持ちもわかると思います。40歳前後で出産・子育てをしているママ限定のひろばです。ぐらんまこと村口先生との相談も。 <b>★狙い   0-3歳児を養育中の40代のママ、プレママの悩み相談</b>		日程	31	28		25	22		24	21	
<b>ぱれっとひろば</b> 時 間：12時～15時 対 象：0-3歳 プレママ可 《申込不要》											
ひとりで子育てに疲れてしまう前に、お子さんと一緒に息抜きに来てね。自由にお話したり、遊んだり…。保育士や専門職が常駐します。いつ来てもいつ帰ってもOK！ <b>★狙い   午前中に引き続き、支援者のいる気軽な相談支援の居場所</b>		日程	24,27,31	21,28,31	19,20,26	17,18,24,25	21,22,28,29	12,13	23,24,30,31	20,21,27,28	6,13,14

## WAM助成 事業B

支援者のための ブラッシュアップ講座	開催 頻度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				●		●●	●		●●	●●
つづきの絵本屋 都築 照代 さん				9/12						
えほんの読みかた										
アドラー心理学、楽育 山口 育子 さん						11/7				
アドラー心理学に基づく“楽育”の子育て支援										
シェルハブ・メソッド 高尾 明子 さん						11/14				
こどもの心を動かす体のレッスン										
身体調和支援 町村 純子 さん							12/9			
生後2カ月からの発達支援 長野原町の乳児発達支援事業が始まった理由										
遠野の子守歌 木津 陽子 さん									2/13	
こころとからだを育む語りかけ、あやし方 遠野のわらべうたに学ぶ										
グラフィックレコーディング 玉有 朋子 さん									2/16	
ファシリテーショングラフィック技能修得セミナー										
作業療法士連携 山口 清明 さん										3/1
学童期のこどもの様子から0歳児の発達支援を考える										
ママぱれっとの視点(ネットワーク会議) 村口 裕美 さん 引野 里絵 さん										3/1
障がいの有無にとられない乳幼児期からできる支援とは？										

連携講座 (セミナーや勉強会など、詳しくは62～63ページに)	開催 頻度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		●	●●	●				●	●	●

# 0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業

最終報告 2019年3月31日

## 事業内容

この事業は、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、3歳児以下、特に0歳児の発達課題を丁寧にみる「親子の居場所づくり」を行う事業です。0歳児の心と体の発達に「視点」が持てるよう、専門職と地域の支援者がさまざまな側面からともに学び、親子に寄り添いながら生活圏でネットワークを形成するため、次の二つの事業を行います。

<事業A> 親子に寄り添いながら、支援者もいっしょに乳幼児の発達支援を学ぶ「ママと赤ちゃんの居場所」

<事業B> 子育て支援にかかわる専門職・支援者向けスキルアップ研修およびネットワーク会議

## 事業の構成について

(内容、アンケートなど、詳しくは3ページから)

### 事業 A

## ママぱれっと ～ママと赤ちゃんの居場所～

参加者の様子を見ながら、アプローチを変えるなど工夫をしている。

- 7-8月を岡山市、9月から早島町で開設。岡山市での継続開催を望む声がある。ただし豪雨災害の影響もあり、来年度以降の岡山市での実施は工夫が必要と感じている。
- 勉強熱心な母親の中には育休中の専門職が散見され、地域の支援ネットワークの潜在的な人材として、同じ視点をもって周囲に働きかけができるのではないかと考え告知を強化した。
- 午前中のプログラムに参加した親子がそのまま昼を買いに行き一緒に食べ、アドバイザーやスタッフとさまざまな話題を話し合っている様子が見られる。意見の交換があり、ゆっくり時間が取れるため、居心地の良い居場所になっている。
- 会を重ねるごとに、居場所自体が成長していく様子がアンケートなどからみられる。

### 事業 B

## 支援者のためのブラッシュアップ講座

7月の豪雨災害を受けて次の点を変更。

- 告知スタートを2カ月遅らせ、被災地の支援者に配慮し、会場を倉敷駅前に一部変更。
- 子育て支援だけでなく、情報発信など、幅広い視点を持てるよう配慮した。
- 被災による心理的不安が大きいため、危機管理の専門家による勉強会を連携講座として行ったほか、県内外の他の支援者の動きを見ながら、外部団体の行う感覚統合、発達支援など関連する講座にスタッフを派遣、交流を行った。

実施主体 一般社団法人チカク

後援 岡山県教育委員会、倉敷市、岡山市、早島町

会場 いかしの舎・・・〒701-0304 都窪郡早島町早島1466  
くらしのたね・・・〒700-0976 岡山市北区辰巳14-1  
岡山県立図書館・・・〒700-0823 岡山市北区丸の内2-6-30  
倉敷市男女共同参画推進センター・・・〒710-0055 倉敷市阿知1丁目7-1

## WAM 事業申請の背景

### ● 岡山県の支援級の多さ

岡山県調べの自閉・情緒障がい特別支援学級在籍児童生徒数の推移によると、学級の生徒数は10年間で3.6倍(H19年1137人→H29年4088人)。自社で展開するプレ幼稚園でも、医療にも福祉にも引っかけらず、でも、現実に子育てに苦勞している親からの相談が増えている。

### ● 親子のつながりとこどもの体の問題

インターネットでなんでも答えを見つけてしまい、実際に目の前にいるこどもとうまく関係が結べないケースや、発達の過程を飛ばして成長した結果、二次障害として課題を持つ子どもが増えている。

### ● かゆいところに手が届かない制度設計

1歳半検診までの間、こどもへのかかわりのアドバイスを受ける機会がなかったケースが散見される。制度として検診(1歳半)を待たなくてはならない現状では、このことを強く意識し間を埋める支援サービスが必要である。

### ● 高学歴、高齢化する出産

高齢出産などで孤立しがちな母親、他地域からの流入世帯など、地域で子育て支援に助けを求めにくい、親子がいる。

### ● 少子化時代のコミュニティの役割

現代の子育てに関する認識、特に、人口減少時代において、「子育て」は、産んだ母親とその家族だけの問題ではない。「子育て支援」は地域の成長戦略の根幹であるという「認識」が、地域社会に足りない。

### ● 人口流入が進む二つの地域

団体の常設拠点のある「茶屋町」は、隣接する県内および近県に勤め先を持つ子育て世代のベッドタウンであり、こどもの数が非常に多い地域である。田畑が多く住居地区は限られていて、女性が働く場所も、子育て世代が集まれる場所もなく、家に閉じこもりがちか、倉敷・岡山市に出ていく親子が多い。居場所を計画しているのは、ここから車で10分の「早島」および20分ほどの「岡山市北区」である。特に「岡山市北区辰巳」周辺は子育て世代がお出かけする再開発の進む商業地区であり、高層マンションに転勤などで移り住む子育て世代が多く、弊社でも課題のある親子からの相談を受けることが増えてきている。これらの要望について、現在は茶屋町へ誘導しているが、もっと身近に相談できる「定期的な支援拠点」の必要性を感じている。

### ● 潜在保育士の活用

現在、行っているプレ幼稚園は、週1-2日、3-4時間の勤務で可能なため、ちいさな保育士のいる保育士にとって働きやすい職場となっている。子どもがある程度大きくなったところで、こうした保育士はもう少し長い時間・日数、働ける職場に転出していく。保育のみならず、拠点で、子育て支援の現状について学んだ保育士を輩出している側面もあり、地域全体としての保育士の質の向上、潜在保育士の現場復帰への足掛かりになっている。

## 本事業は何を意図して行われたか

● 主に0歳児を養育中の保護者の育児不安を解消・軽減し、その後の長い育児期間について主体的な展望に近づけること。そのために、近隣の子育て支援施設などと連携しながら、0～3歳児を養育中の保護者の育児相談の場として、機能していくこと。

● 学童期以降の「生きづらさ」につながる発達課題の解消および軽減。障がいのあるなしにかかわらず、ひとりひとりの発達課題に沿った能力の伸ばし方があることを、保護者と支援者がともに学んでいく。

● 地域の子育て資源の発掘および現代の子育て支援の課題に対する新しい視点の獲得と、日常的に子育てにかかわらない人たちに「子育て支援」が「地域の成長戦略」につながることを理解してもらい、さらにかかわる人を増やしていく。

倉敷市茶屋町から幹線道路を通じてつながる早島、岡山市に、保育士および子育て支援員および周辺の専門職などと、行政区をまたいだ支援ネットワークを形成する。

**ママはれっと**  
ママと赤ちゃんの居場所

## 「0歳さんの日」

赤ちゃんとの暮らし、離乳食、排泄、睡眠など、なんでも、ベテラン助産師さんに聞いてみよう。さまざまな月齢の子と遊んだり、お話したり。お話するのが苦手でもスタッフがサポートするから大丈夫。赤ちゃんのママにおすすめです。

### 【狙いと対象者について】

0歳児の育児（暮らし）の立ちあがり支援を目的に、0歳児とその保護者を対象に、7月～翌年3月まで、月1回全9回を開催した。

対象者は、赤ちゃんとの暮らしに不安があったり、安心して外に出ることができる環境を求めている。子連れで初めて戸外に出る人も。子育ての日々の中での、「驚きと発見」「不安と悩み」を誰かと共有したい気持ちを感じられた。

時 間	10時～12時・要申込
アドバイザー	助産師・保健師・看護師 村口裕美さん
開 催 日	7/24、8/21、9/26、10/24、11/21、12/13、1/23、2/20、3/6
対 象	0歳児と保護者・定員12組程度

## 0歳さんの日 @くらしのたね 1

平成30年7月24日(火) 10時～12時

参加人数 5組 (乳幼児5人 大人5人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (離乳食の量、授乳の仕方や抱き方、うつぶせの重要性など)
- シェアタイム、Q&A、手遊び、アンケート

### アドバイザーより (抜粋)

- 子どもと過ごすための知恵  
⇒大人ができる事の1つに「成長発達を理解し、我が子を観察してみる」が大切と伝え、個々に合わせた関わり方を実践した。
- 乳児期の栄養 (母乳、ミルク、離乳食) について  
⇒手と目と口協応。姿勢とグッズの使い方 (椅子) についてお伝えした。
- 小さく生まれた赤ちゃんの扱い方⇒ 少し時間をかけて赤ちゃんの扱い方を伝え、実践した。
- 寝かしつけ、遊び方が知りたい。向き癖の対応  
⇒バランスボールの使い方。授乳方法。身体を使った日常的な母としての関わり方を伝える。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 親子の交流の場がほしかったため。
- 本を読んで育児していたので、直接教えてもらったり、他のお母さんの話を聞きたかった。
- 睡眠について相談したかった。
- 育児の悩みを解決するため。家から出る目的作り。村口先生にお会いしたかったから。
- 暑いし行く所もないので家にこもりがち。外に出られて他のママや赤ちゃんや先生やスタッフの方とおしゃべりできるなんて最高!

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 離乳食の量。赤ちゃんの気持ち。
- 母乳のペースを教えていただいた。
- うつぶせの重要性。家でも試したいと思った。
- 足の形、手の形など発達に大切な事をたくさん教えていただいた。離乳食の時の姿勢に気を付けたいと思う。
- 授乳の仕方や抱き方、ミルクの補足の仕方など…具体的に教えていただけで良かった。

#### もう少しここがこうだったら…

- 子どもがもう少し小さい月齢から通いたかった。

#### できること、やってみたいこと

- 赤ちゃんの発達にあった遊び方、手助け方法の勉強会があったらなぁと思う。
- 教えていただいた事を実践したい。
- うつぶせの練習やバランスボールでの寝かしつけなど。

#### 参加による良い変化やご意見

- 車がとめられると嬉しい。
- 毎日、一日中いたいくらい居心地が良かった。ありがとうございました。



**0歳さんの日 @くらしのたね 2****平成30年8月21日(火) 10時~12時**

参加人数 10組 (乳幼児10人 大人10人)

**内 容**

- 手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 ( 離乳食の方法、母乳のペース、行水、ふれあい遊びなど )
- シェアタイム、Q&A、手遊び、アンケート

**アドバイザーより (抜粋)**

- 「便秘、綿棒浣腸効果なし」「少しもじっとしてられない、夜間1~2時間毎に起きる、離乳食を食べない日が多い」など。両方のお子さんとも、腹式呼吸がうまくできていないと感じた。各々にバランスボール、ベビーマッサージと体操を伝えた。
- 午前、午後共、ママ達同士の語らいができており、その場にいるスタッフの配慮が適切であると感じた。とても良い人的環境と考えられる。
- ママの顔を見ていない赤ちゃんが目立つ。正中を意識させる事を言葉で伝え実践した。
- 「離乳食(中~後期)をうまく食べてくれない」が目立つ。食べ方は身体作りからと伝える。
- 赤ちゃんとともに過ごす事にやや疲れ気味だが、気分が落ち込むまでではない母親が目立つ。母自身が楽しんでくれる事を願いながら、月齢に合わせた「ふれあい遊び」を実践した。
- 当方からの「ママのお悩み」に対するお話。質問もあり、熱心さを感じる。ママ達自身ももう少し日常を緩めた生活ができると、赤ちゃんに伝わるのではないかと感じアドバイスした。

**アンケートより (抜粋)****参加目的**

- ここで過ごす時間が大好き。村口先生のお話が聞けるのでありがたい。
- 自分のリフレッシュ、悩みの解決、子どもが家以外が好き。
- 母も子も他のお友達とコミュニケーションが取りたかったため。
- 近所で赤ちゃんと遊びに行ける場所だったから。
- 育児相談、ママさんとの情報交換。

**こころに残ったキーワード・収穫**

- 離乳食の方法を知れて良かった。
- 母乳のペースを教えていただいた。
- 深爪しない方が良い事。行水をするると良い事。夜中に子どもが起きる事への対応。
- 満足した。新しい遊び方が分かった。
- いろいろな悩みと先生のお話が聞けてとても勉強になった。
- 悩みに細かく丁寧に回答されていて参考になりたい。
- とても満足した。離乳食の事やタッチの事など、勉強になった。

**もう少しここがこうだったら…**

- ない。最高。回数が増えるともっと良い。

**できること、やってみたいこと**

- もっと身体を使った遊びをしようと思う。
- 教えてもらった遊びをしてみようと思う。
- 赤ちゃんの手遊びがたくさんできるようになりたい。
- 離乳食で食材をいろいろ混ぜる事が多いので、単品であげる事も大切にしたい。

**参加による良い変化やご意見**

- いつもとても楽しく充実した時間を過ごしている。スタッフの方の対応がとても良くて私自身が癒される。
- マンションだと狭くて、のびのび遊ばせてあげられないので、子どもにとってもすごく良い場所だなと思った。

## 0歳さんの日 @いかしの舎 3

平成30年9月26日(水) 10時~12時

参加人数 11組 (乳幼児11人 大人11人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチセッション
- お話 (赤ちゃんとのふれあい、耳・手・足の刺激、正中線、身体のバランスの大切さなど)
- シェアタイム、Q&A、自由遊び、片付け、手遊び、アンケート

### アドバイザーより (抜粋)

- 緊張高く、人見知りが強い、泣くなど抱きにくい赤ちゃん。うつぶせ姿勢でのマッサージと体操を行なう。人見知りより「不安」「恐怖」の感情が強いのではないかと伝え、家での対応を伝えた。
- ふれあう事の大切さを具体的に教えると実行していただけるかなと判断して、耳・手・足を触れてみる事をポイントとして話をした。どのお母さんも熱心だが赤ちゃんとの身体の距離が遠い。個別・月齢毎のポイントを伝えると、「あ！本当だ！」と納得された。自宅での行動が変化してくれる事を期待したい。
- 1ヶ月未満~3ヵ月までの月齢の赤ちゃん達、みんな個々の課題があり、相互の作用が必要であった。当方が「母親モデル」になる事で、「育む」実践ができたのではないかと思います。
- 母親同士で心配事を言い合い中にはアドバイスをする姿などが見られ、安心して支援できた。「生活指導」はこのような輪の中に入ってこそ生きたものになる。とても心地よい空間だった。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 前回参加してとても良かった。
- 勉強や刺激になると思ったから。
- 子どもと一緒にどうやって1日遊ぶかを知りたい。
- 子どもとの接し方がよくわかった。
- 子どもを遊ばせながら、私も子育てについて学びたかった。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 耳、手、足についての話。
- しっかり触れたり、手や足を刺激する事。正中線の大切さ。
- うつぶせ寝と手と足の触り方。
- 触れる事、話かける事。
- 身体のバランスが大切。左右の差をなくしていけるように動かしてあげる。
- とても勉強になったし、いろいろな方とお話ができて満足。
- 子どもとの接し方がよく分かった。
- 知らなかった事をたくさん知れた。

#### できること、やってみたいこと

- 子どもにもっと触れて刺激してあげようと思った。
- うつぶせ寝と手と足の触り方を実践したいと思った。
- 手遊びうた。
- たくさんハイハイさせたり、いろいろな身体の動かし方を楽しませてあげたい。

#### 参加による良い変化やご意見

- ぱれっとに参加し始めて、大きく成長していると思う。活発になった。
- しっかり目を見て、声を掛けてふれあいたい。
- 子どもが同年代の子ども達と上手に遊べるようになった。
- 月齢に応じたふれあいが大切。
- 気分転換になった。

**0歳さんの日 @いかしの舎 4****平成30年10月24日(水) 10時~12時**

参加人数 7組 (乳幼児7人 大人7人)

**内容**

- 手遊び、ハイタッチセッション、自己紹介、ワーク2種類(童謡)
- お話(話しかけたり、絵本を読んだり、今の時期にしてあげる事、親子のふれあい遊び、童謡、感覚と言葉など)
- シェアタイム、Q&A、アンケート

**アドバイザーより(抜粋)**

- 緊張の強いお子さん。度々泣いて扱いに工夫が必要  
⇒ようやく寝返りできている。マッサージと体操の必要性を感じたので、簡単に伝えた。
- どの親子も良い愛着関係であると判断した。
- 親子でふれあう時間を多く持つ事ができた。(ふうせんふわふわとんでった♪に合わせて親子のふれあい遊び) 感覚、言葉。  
⇒ワーク1、ワーク2とも、母親は積極的であった。喃語を出す時、一緒に歌い、言葉が出る頃一緒に唄ってほしい旨を伝える事ができた。
- 母親同士、よく話していた。赤ちゃんはその周りで遊んでいる。  
⇒情報を共有し、悩みを当方や保育士に質問され、納得されていた。とても良い光景。
- 離乳食に関する話が延々と続いた。ほとんどの赤ちゃん達は、「食べてくれない」であった。⇒身体を作り、手と口と関係を理解してもらう事が大切な課題である。

**アンケートより(抜粋)****参加目的**

- ママさんとの交流。離乳食の悩み相談。
- 外に出る機会を増やす。村口先生のお話を聞く。
- 前回は参加してとても勉強になったため。
- 子どもといろいろな体験をしたいから。

**ここに残ったキーワード・収穫**

- 大人の言葉遣い。今の時期にしっかり話しかけたり、絵本を読み聞かせる大切さ。
- 目を合わせて歌を歌う。口を大きく開ける。
- ふうせんの歌や、今からしっかり関わっていこうと思った。
- 子どもに対して話す時の口の大きさ。身体を動かして静の動きへ。
- 保育士さんや村口先生、他のママさんの体験談や思いを聞く事ができ良かった。離乳食の悩みにアドバイスをもらった。
- 学びが多かった。
- 毎日忙しく振り返る事が無い事がらに気付けた。
- 今日のワークとても素敵だった。
- いつも参加した後は、もう一度いろいろな事を考え直すきっかけになる。
- いろいろ話を聞け、質問もできた。

**できること、やってみたいこと**

- 歌を歌ったり、たくさん本を読む。
- ふうせんの歌、顎のマッサージ。
- 歌や言葉遣いに気を付けようと思った。
- 手遊び、歌。毎日繰り返しできるのと、子どもが喜んでいたので。

**参加による良い変化やご意見**

- 他のお母さんと交流できた。
- 日々の悩みがすぐに解消できる。
- 先生にアドバイスをいただけて嬉しかった。前回のアドバイスも的確で家族が喜んだ。ありがとうございました。

## 0歳さんの日 @いかしの舎 5

平成30年11月21日(水) 10時~12時

参加人数 11組 (乳幼児11人 大人11人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (発達の順序、身体と心の調和、冷えと病気、足浴など)
- シェアタイム、Q&A、手遊び、アンケート

### アドバイザーより (抜粋)

- そりが強く、非対称の身体。首・背中・肩・腕の硬さを母親と確認しながら、聴く・見る・手を動かすためのおもちゃの与え方と軽いマッサージを伝えた。
- ずりばいなく、高さに反応しており、未完成の四つ這い移動。できるだけうつぶせ遊びができるよう、遊びの提案を行う。上肢のマッサージの勧め。
- 鼻水が出る。足浴の勧め。立とうとする姿がある。月齢に合った身体の動きが大切。
- 這おうとして母親から離れるとすぐに泣く。家でも同じとの事。「人見知り」と言われるが、そうではないと思うと話をした。感覚統合の必要性を伝え、ブランコ、バランスボールなどの遊具を勧める。
- 乳児期前半のお子さんが多かったので、発達の順序を伝えやすかった。その後、グループ内での会話が共有でき、明日から実践できる様子が感じられ安心できた。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 子育てについて勉強したい。交流深めたい。
- 先生にアドバイスしてもらうため。
- 近い月齢の子どもと関わりたかったため。
- 子どもと私の友達を増やすため。
- 身体の事、離乳食の事を聞きたい。
- いつも楽しく、勉強になる。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 身体と心の調和。
- お腹を冷やすと病気をしやすかったり、アレルギーが出やすくなったりする。
- 月齢に応じた成長を知る事ができた。
- 赤ちゃんにももどかしさがある。左右差をなくす。
- 足浴。
- 赤ちゃんが達成感を味わっている事。
- 悩みが解決できた。
- アドバイスが的確でとても参考になる。
- 忘れていたことを思い出し、意識できていなかった事に気付く事ができた。
- 先生のお話がいつも勉強になり、スタッフの気遣いが暖かく、会場も素敵だった。

#### できること、やってみたいこと

- おもちゃを使った関わりの工夫。
- 足浴。ゆらゆらさせる。
- こんにやく湿布や子どもと同じ目線で遊んでみる事。足を温める事。
- 寒くても外に出る。大変でも子どもと一緒に遊ぶ。外遊び、中遊び。

#### 参加による良い変化やご意見

- 抱っこをした時に身体を反る事が心配だった。子どもの身体の左右対称、身体が硬い事が分かり、そのための関わりを学ぶ事ができた。
- 先生のアドバイスで子どもが成長している。
- 左右対称になる身体を動かす遊びを取り入れたいと思う。
- いろいろな悩みを相談できる。
- 離乳食の回数が増えても、母乳の量は変えなくて良い事を初めて知った。身体も見てもらえて良かった。
- この空間で過ごすだけで気分がリフレッシュする。

**0歳さんの日 @いかしの舎 6****平成30年12月13日(木) 10時~12時**

参加人数 13組 (乳幼児13人 大人13人)

**内 容**

- 手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (「冬」に育った子ども、離乳食の食べ方・与え方、泣く赤ちゃんの対応“夜泣き・奇声”など)
- シェアタイム、Q&A、手遊び、アンケート

**アドバイザーより (抜粋)**

- グループワークの中の問題点を中心に話を広げられた事が良かった。「冬」に育った子どもについて理解してもらった。
- 離乳食についての質問が多かった。食べない、噛まないなど。昼食をいただきながら、与え方の実際ができた。昼食時の離乳食(レトルト)だが、一口量の多さを指摘させてもらった。
- 夜泣き、奇声、泣きに対しての不安に対してタオルマッサージの実際と実演。母親が毎日ふれあいながら実践してくれる事を願いながら。
- 個別のご心配事、特に発達について具体的に質問された。短い時間の中で家でできる対応、考え方、遊び方など、アドバイス。また、親子でふれあい、仲良く過ごしている光景が見られた。スタッフの動きの良さを感じた。ありがとうございました。

**アンケートより (抜粋)****参加目的**

- 畳の上で遊べると聞いて。ちゃやっこひろばとは違う場所でも遊ばせたかったため。
- 離乳食の相談。
- 子どもの発達の様子を知るため。
- 日々の育児が正しいかどうか知りたい。
- 同じ月齢の子ども達とふれあいたい。

**こころに残ったキーワード・収穫**

- 足首と首とお腹を温める。外気に触れさせる。「寒いね」などの言葉をかけながら、外の空気を感じさせる。
- 「冬を感じさせてあげる」。外へ連れて行くとか。足湯とか考えもつかなかった。
- お母さんとのふれあいが大事。
- しっかりと身体に触れる。話しかける事の継続。寒さも感じる大切さ。
- 1歳まで母がたくさん関わってあげる。
- 子どもも楽しそうに遊んでいたし、たくさん話を聞けて良かった。
- 相談してホッとした。不安が解消した。
- 寒くなって悩んでいた。
- 月齢に合った子の状態を知る事ができた。

**できること、やってみたいこと**

- 足湯やマッサージ。ふれあい遊び。
- マッサージ。食べる事が進むかもしれないから。
- 野菜をかじらせてみる。少しでも外に出して寒さを感じさせる。言葉にして伝える。
- 遊び、食事、身体の事。たくさんを知る事ができた。

**参加による良い変化やご意見**

- ちゃやっこひろばの0歳さんの日でも今日のような時間割(ふれあい遊びや親同士の会話)が増えたらいいなと思った。
- いろいろな刺激があって良かった。
- 短時間でも外に出る時間を作る。
- 前回バランスボールを教えていただいて家でも使っている。
- 1歳までの課題と思っていた事を他の人も悩まれていて、重荷が少し軽くなった。
- たくさんふれあっていていきたいと感じた。
- 寒い日でも外に出る。

## 0歳さんの日 @いかしの舎 7

平成31年1月23日(水) 10時～12時

参加人数 12組 (乳幼児 12人 大人 12人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (一番好奇心が芽生える6~9ヵ月頃のお子さんの悩み事、赤ちゃんの生活リズムの作り方、体操ができる身体にするベビーマッサージ、ずりばいの後にどんな動きをすると四つ這いになるかなど)
- シェアタイム、Q&A、手遊び、アンケート

### アドバイザーより (抜粋)

- 上のお子さんと遊ぶチャンスがなくてというママがいた。下のお子さんを保育士さんが見てくれて、上のお子さんと遊ぶ事ができて大満足だった。
- 離乳食後期の質問が多かった。ステップしにくい、母乳との関係など。質問の方々のお子様には全て授乳期開始頃にうまく飲めていない事を訴えられた。
- 身体作りについて。モデルのお子さんを通して、赤ちゃんの心の動きと身体の動きについて説明すると納得された。
- ずっと抱かれている赤ちゃんが何人か。基礎感覚の入力不足が考えられた。次につなげるものを探る必要性を感じた。
- お昼ご飯をいただきながら、離乳食の与え方についてアドバイスができた。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- とても良い、参考になると勧められて。
- 毎日の育児の不安や同じ月齢のお子さんの発達状況など気になったため。
- 村口先生、保育士さんに相談したい。
- 子どもを自由に遊ばせる事。その中でアドバイスがいただける事。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 動きと身体の成長の関係がわかった。
- 好奇心。
- 安定した生活を心掛ける。
- 身体の軸、中心、バランスを鍛える事が大事。
- 背中には交感神経、副交感神経があり、さするだけでも落ち着く。
- 夜安心して寝られる方法や他のお母さん達の離乳食の進め方など。
- 今は子どもとしっかり向き合う時期。
- 右手ばかり使うのは、利き手だからと思っていたが、そうではなく左手の動きが不十分であるため。日々の中で左右差はないかなど、遊びの中で関わっていききたい。
- 個別に分かりやすく教えてもらった。
- 同じ月齢のお母さんと話せた。家にはないおもちゃで遊べた。お話が参考になった。
- いろいろなお母さんとたくさんお話ができたので楽しかった。
- 悩みを聞いていただけで安心した。

#### できること、やってみたいこと

- 赤ちゃんのマッサージ。
- 午前はなるべく日に当て、お風呂は早めに。
- おしゃぶりをよくする事を周りの家族からも注意されたが、やめさせる方法が分からなかった。具体的に教えてもらったので、今度やってみようと思う。
- 興味のあるものを使って一緒に遊ぶ。
- 安心して眠れるように「背中さすり」を落ち着いた環境でしていきたい。

#### 参加による良い変化やご意見

- 村口先生の言葉はすごく心に残る。上の2人にはできなかった分、3人目の子育てを楽しみながらいろいろと学んでいきたい。
- 疲れや不安が少し取れがんばろうと思った。
- 集団生活に触れる事ができた。

**0歳さんの日 @いかしの舎 8****平成31年2月20日(水) 10時~12時**

参加人数 11組 (乳幼児12人 大人11人)

**内 容**

- 手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 ( 場所見知り、1歳までの発達、マッサージ・体操、妊娠安定期のスポーツ、便秘の対処、哺乳瓶の選び方など )
- シェアタイム、Q&A、手遊び、アンケート

**アドバイザーより (抜粋)**

- 場所見知り。母から離れると泣いていたが、時間の経過と共に四つ這いで遊んでいた。母の笑顔についていく赤ちゃんの姿確認。
- 遊ばせ方。子どもを信じて一緒に遊ぶ事ができれば母は笑顔になれますねと話す。
- 離乳食の話が多い。昼休みに「つかみ食べ」「マグ使い」が見られ、その場でアドバイス。
- グループ毎の悩みを共有できるグループトークであった。
- 本日の手遊び。とても良かった。大きな関節、小さな手の関節を動かす。
- 個別の相談者にゆっくり対応できた。
- 似た月齢の子ども達と過ごす。母の悩み、困り事を共有でき、子ども同士の交流が楽しく、ゆっくりと時が流れていった。母と子の笑い声多く、スタッフの場作りに感謝。

**アンケートより (抜粋)****参加目的**

- 同じ悩みを持った方の話を聞きたい。
- 関わり方、子育てのヒントがほしい。
- 助産師さんの話が聞きたかった。
- 子どもが自由に遊びながら親も学ぶため。
- いろいろな月齢のお友達と遊ばせたかった。先生に離乳食のお話を聞きたかった。

**こころに残ったキーワード・収穫**

- 妊娠中期の行動も子どもに関係がある。
- 1歳までにシナプスがつながる。
- 小刻みな動きが脳を育てる。
- 行動には意味がある。先生の話に納得。
- 離乳食の事も詳しく聞けて良かった！
- 妊娠中に動いた方が良かった事！私はあまり動かなかった。
- 食べ物を齧らせる事。場所見知りする場合、安心感を持たせる。おもちゃを持っていく。妊娠中期によく動く事。
- 両手どちらも使えるようにしたら良いと聞いたので、遊びの中で片方だけでなくいろいろな方向から刺激を与えようと思う。
- 食事に使うイスについて。妊娠中の運動が大切な事。
- 息子の便秘に悩んでいたの、いろいろ教えていただけて勉強になった。
- いつも参考になる話が聞ける。
- 気になっていた事が解決できた。
- 今回も知らない事がたくさん学べた。
- 母乳の事を相談できた。

**できること、やってみたいこと**

- 手遊び歌、わらべうたをやってみたい。
- たくさん遊びを通して子どもと接したい。
- 子どもにしっかり言葉のシャワーを浴びさせたいし、親が意識すればできる事だと思った。
- 一緒にたくさん動いて体力をつけさせたい。たくさんハイハイをさせたい。

**参加による良い変化やご意見**

- 家ではない子どもの行動が見られた。
- 子どもが少し人や場所に慣れるのが早くなった。
- 離乳食のあげ方を変えようと思った。
- 以前に足浴の話を聞いて実際にしてみると効果あり。元気に過ごせている。

## 0歳さんの日 @いかしの舎 9

平成31年3月6日(水) 10時～12時

参加人数 12組 (乳幼児 14人 大人 12人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチセッション、自己紹介、グループトーク
- お話 ( 身体の対称性・正中位、抱っこの大切さ、父親と母親の役割、離乳食、マヤインディアンの育児など )
- シェアタイム、Q&A、手遊び、アンケート

### アドバイザーより (抜粋)

- 乳児期前半児の共通した課題は「正中位」になっていない事であった。音、触覚、視覚を刺激する事の大切さを伝え実践した。
- 誕生前の「ハイハイ」時期のお子さん達が多かった。しっかり這わせる場所がないなどの悩みが多かった。母親と共に「遊ばせる」「這わせる」事の大切さを伝え実践した。
- 子育て中での些細な困り事を気軽に話ができる時間である。本日も日常の中での「食事」「水分」「排泄」についての不安があった。ゆっくり話ができ、家族の様な関係の中で話げできた。子ども達はゆくりと遊べており、大人も心地良かったと思われる。スタッフにも気軽に話げできていた。とても良い関係性と場であると感じる。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- ママ友ができたら良い。
- 子どものお友達との交流。
- 悩みがあったから。(便秘)
- 情報交換、子どもへの刺激。
- 子どもが身体を動かしてしっかり遊べるように。
- よく参加させてもらっているの。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 離乳食。
- 便秘の事。向き癖。身体を中心の事。うつぶせ遊び。
- 母親の抱っこがいかに良いか、大事か。
- お父さんとお母さんは役割がそれぞれ違って子どもの感じ方も違う。
- つなぎの服は子どもからすると動きが制限されるというのは初めて知った。
- 普段聞く事のできない話をたくさん聞けた。
- いろいろな方と話げできた。
- 助産師さんに悩みを聞いてもらい解決できたから。
- 子どもがすごく楽しそうに遊んでいた。
- 遊び方や離乳食の進め方がよく分かった。
- 同じくらいの月齢のお子さんを持つお母さんと話げできた。

#### できること、やってみたいこと

- いろいろな事を経験させたい。
- 主人にたくさん抱っこしてもらいたいと思った。
- ハイハイの練習。
- うつぶせして遊んで、より成長を見たいと思った。
- 断乳も悪い事ばかりではないなと思う事ができた。
- 上の子を巻き込んだ育児。

#### 参加による良い変化やご意見

- 集団においての子どもの動きや遊び方。  
たくさんのお友達やママさんと遊べて楽しかった。
- 学ぶ事、発見できる事があった!
- いろいろな情報共有ができた。
- 育児についてこれで良いのかな?と思う事があったが、大きくそれではなさそうなので安心した。



**ママはれっと**  
ママと赤ちゃんの居場所

## 「赤ちゃんとお遊ぼう」

日々の遊びは赤ちゃんの発達にとっても大切。  
でも、赤ちゃんとの遊び方がわからなくて困  
っているママも多いのです。乳幼児の発達に  
詳しい先生に、おうちでできる遊びのアイデ  
アを学びましょう！

### 【狙いと対象者について】

0-1歳児の育児（遊び）の立ち上がり支援を目的に、0-1歳児とその保護者を対象に、7月～翌年3月まで、月1回全9回を開催した。  
対象者は在宅で子どもと過ごす時間が長く、さらにロールモデルが身近にいないケースも多く、自分の育児が正しいのかどうか不安がある。さまざまな月齢の赤ちゃんとそのママたちが一堂に会することで、日々の悩みを気軽に尋ねられる居場所となった。

時 間	10時～12時・要申込
アドバイザー	作業療法士/引野里絵さん
開 催 日	7/27、8/31、9/19、10/18、11/29、12/12、1/31、2/28、3/14
対 象	0-1歳児と保護者・定員10組程度

## 赤ちゃんと遊ぼう @くらしのたね 1

平成30年7月27日(金) 10時~12時

参加人数 14組 (乳幼児 14人 大人 14人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (おもちゃの紹介、手遊び、身近な物での遊び方、ハイハイの促し方)
- Q&A、アンケート、手遊び

### アドバイザーより (抜粋)

- 場慣れ、人慣れしにくいお子さん。このままで大丈夫？  
⇒最初は様子を見ているようだが、少しずつ遊び始めるとのことだったので、慣れて楽しかった！！という経験ができることが大事。みんなと同じようにできない時でも、他児のしていることを見ている時に再現したりするので、じっと見ている時間も大事と伝えた。
- 1歳1ヵ月でまだ歩かない。  
⇒ハイハイで移動、つかまり立ち、つたい歩き、立ち座りを状況に合わせて行っていたので、今は歩く準備中で大きな問題はないと伝えた。
- おもちゃで遊ばず、ソファの上に乗ったり下りたりするので目が離せない。(10ヵ月) ⇒お子さんによってその時々のおもしろいところがあるのでは…？可能な限り、今、そのお子さんがしたいことをさせてあげることが大事とお伝えした。
- ずりばい、ハイハイをあまりせず歩き始めたからかよく転ぶ。体幹が安定していない気がする。(1歳3ヵ月)  
⇒確かに少し低緊張の傾向(座った姿勢、歩いている様子より)。しかし、子どもは体が柔らかいもの。体をしっかり動かすことで支える力を身に付けていく。
- 家庭での様子を伺うとソファへの昇降が危ないから止めさせているとの事。ソファからキッチンカウンターへよじ登る。危ないらしいので、ソファの配置を変える。可能ならソファをキッチンカウンターから離す。家がアパートで階段があるとのことだったので、手足を使ってよじ登る経験をさせること。今日の遊びの回など、心置きなく身体を動かせる場をできるだけ利用しようとお伝えした。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 作業療法士の話に興味があった。(3件)
- いろいろな遊びを知りたい。(3件)
- 親子で遊びたい。
- 自宅でどのように遊べば良いか迷っているため。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- いろいろなおもちゃがあって、子どもが今どんな物に興味があるのかわかった。引野さんの解説もあってわかりやすかった。みんなに声をかけてもらえて良かった。
- 子どもがいろいろな遊びから感覚を身に付けることがわかった。
- 子どもがたくさん動き回れて遊べたのが良かった。
- 満足。いろいろなママや赤ちゃんを見て、お話して楽しかった。

#### できること、やってみたいこと

- 公共の施設にあるおもちゃを触らせていろいろな遊びをしてあげたい。
- おもちゃがなくても、家にある物で遊びになるのでそうしたい。
- 今日教えてもらった手遊びやハイハイを促す遊びをもっとしようと思った。
- もっと手遊びでスキンシップをはかりたい。

#### 参加による良い変化やご意見

- いつも楽しく参加している。
- 素敵な会場なので、近くなれば良いのと思った。近い人がうらやましい。
- 質の高いおもちゃがたくさんあって楽しかった。
- チカクのイベントはとても楽しいだけでなく、勉強になる。

**赤ちゃんとお遊ぼう @くらしのたね 2****平成30年8月21日(火) 10時~12時**

参加人数 16組 (乳幼児 16人 大人 16人)

**内容**

- あいさつ、手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- **お話 (物を投げる赤ちゃんの行動について、遊んでなんだろう? 遊びのレクチャー)**
- 個別相談、Q&A、手遊び、アンケート

**アドバイザーより (抜粋)**

- 先月は場慣れしにくかったお子さんが、今回は泣かずにすぐに遊びはじめていた。
- 月齢の近いお子さん同士のグループだったので、お母さん同士の話もしやすかったのでは??  
⇒グループ毎に回った時に同じような心配事もシェアしやすかった。
- 「物を投げる」10ヵ月。タイミング良く手を放すのを学んでいる。安全に投げる遊びを。投げて物が飛んだり、見えなくなるのが楽しい。
- 前まで遊んでいたおもちゃで遊ばなくなった。  
⇒子どもはしっかり遊んだ後は、そのおもちゃや遊びから卒業する (= 飽きる)。いつまでも同じおもちゃで遊ばないものであるということも、飽きるまで遊ぶのが大事であることも、お母さん達に知ってもらえたら良いなと思った。
- おもちゃの意図や目的はあるが、必ずしもその通りに遊ぶことが遊びではない。子どもはその子なりの興味で遊んでいることも多い。「こうしてみよう!」とモデル提示することは大事だけれど、必ずしもそのモデルに反応しなくてもOKという心の余裕も大事。

**アンケートより (抜粋)****参加目的**

- 気分転換。子どもの遊び方を知りたかった。
- 子どもとの遊び方や他の子がどうやっているのか知りたかった。
- 自宅での2人きりでの遊びにマンネリしていて、どうやって楽しめるか、どんな遊びがあるのか学びに参加させてもらった。
- 友達作り、情報交換。

**こころに残ったキーワード・収穫**

- 物を「放す」ことが難しく、最後にできること。他のお母さんからの睡眠や離乳食のことなど、いろいろな話が聞けて良かった。ブロッコリーの芯など噛ませてあげる。
- 今は物を投げる時期だから、安全な物で投げて遊べるようにしようと思った。
- 家にはない手作りのおもちゃ (ペットボトルに鈴を入れた物) でよく遊んでいたもので、作ってみようと思う。
- 上手に遊べなくても良い。失敗自体も遊び。
- 気になったり、夢中になれるもので遊べば良い。物を投げる事が多く、その理由を知ることができて良かった。

**できること、やってみたいこと**

- 大人が使っているような物で、子どもが使って大丈夫そうな物を探そうと思う。
- 手遊び。とにかく子どもに触れる。
- 興味を示す物を見つけて一緒に遊ぼう。

**参加による良い変化やご意見**

- またやってほしい。
- いろいろな遊びの段階を知れて良かった。
- ママ達とたっぷり話ができて楽しかった。
- 家にはないおもちゃで、しかももうこの月齢ではそんなに喜ばないのではないかと思っていたおきあがりこぼしにドハマリしたようで、楽しむことができた。参加できて良かった。ここでずーっとこんな集まりがあったらなあと思った。
- ハイタッチで顔合わせする紹介の仕方が楽しかった。
- みなさん温かい方で良かった。

## 赤ちゃんとお遊ぼう @いかしの舎 3

平成30年9月19日(水) 10時~12時

参加人数 8組 (乳幼児8人 大人8人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (手遊び、現代の家屋環境、リモコンや調理器具などおもちゃ以外の物で遊ぶお子さんについて)
- 自由遊び、片付け、手遊び、アンケート

### アドバイザーより (抜粋)

- お母さん。「親子でしっかり遊ぼう」「親子で向き合って」と言われると、それが24時間毎日と思っておられて日々がしんどいとのことだった。  
⇒しっかり遊ぶ時間、向き合って遊ぶ時間と、そうでない息抜きの時間とどちらがあってもOKとお伝えする。
- 家での遊びに限界を感じ、家でできる遊びを知りたい。家は狭くて…とのことだが、何をしてあげたら良いか知っておられるご様子。  
⇒家でできる布団遊びなどを推奨した。
- 家にある物で遊べる工夫を伝えていく必要があると感じた。〇〇がないと遊べない…わけではないが、イメージがしにくい様子。次回以降何かできたら良いな。
- 手遊びでした動きの意味を保育士さんが分りやすく伝えてくださったので良かった。
- 現代の家屋環境。7ヵ月以降のずりばい、ハイハイの時期の子ども達にとって、その動きを満喫することができにくく、すぐにつかまり立ちになってしまう可能性がある。地域で子ども達が広い空間で遊べる資源があれば良い。天候が良くなれば屋外。
- ずりばいをしない(しなかった)ままハイハイをしかけている。  
⇒後から(幼児期に)遊びの中で再体験する事も可。ハイハイはできるだけ体験させたい動きであることを伝える。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 前回参加して、とても勉強になったため。
- 子どもがお友達と遊べる機会を作りたい。
- 月齢に応じた遊びを知りたい。
- 同じ月齢の子とのふれあい。
- 身体の動かし方。どんな遊びが良いか知るため。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- おもちゃは子どもが興味を持っているもので良い。
- タオルを使った遊び。些細なことでも子どもにとっては遊びということが分かった。
- 新しい手遊びを知ることができた。うつぶせも大事な遊びであると知った。
- ずりばいをしなかった分、滑り台や坂道を登ると良い。
- 娘も楽しく遊べて、私もとても勉強になった。
- 息抜きの仕方、遊び方を教えてもらった。
- 月齢の近い子と過ごせた。保育士さんが遊び方を教えてくれた。
- 家とは違う2時間が過ごせた。

#### できること、やってみたいこと

- 手遊び。(3件)
- 簡単な遊びはまたできると思った。

#### 参加による良い変化やご意見

- 子どもが母親以外の先生やママ達に関わる姿が見られた。
- 初めての参加だったが、また参加したいと思った。スタッフのみなさんの接し方がとても良くてありがたかった。
- 子どもがとても楽しそうだった。家でもたくさんの経験をさせてあげられるように、環境を準備したい。
- 気持ちが楽になった。気分転換になった。

**赤ちゃんとお遊ぼう @いかしの舎 4****平成30年10月18日(木) 10時~12時**

参加人数 11組 (乳幼児11人 大人11人)

**内容**

- あいさつ、手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (ふれあい遊びの大切さ、何でも遊びになる事、手づかみ食べ、テレビの使い方)
- Q&A、手遊び、アンケート

**アドバイザーより (抜粋)**

- 離乳食を食べない。他の同世代の祖母(保育士)の子育て論を聞かれて「ごはん味噌汁でOK」「食べなくてOK」で納得。手づかみ食べも大事とお伝えし「良かった」と話された。
- 保育士の具体的で詳しい話が良かった。ふれあい遊びの大切さと関わりが伝わったと思う。
- ご自身(母)の基準や手の抜き方、他のお母さんと比べないことなど、ご自身の落とし所を自分で見つけていくことが大事。正解はないということをお伝える。
- テレビの使用についての話が出た。長時間の使用は良くないと知っているが、じっとしてテレビを見ているとついついつけっぱなしになってしまう。  
⇒それぞれの家庭の状況や生活スタイル、考えも合わせ、使い方を考えてみてはどうか…。これからの時代、メディアとの関わりは必須だと思うので、避けては通れないが、自然の音、風、雨音、小鳥のさえずり、優しい音を感じさせてあげてからの人工的な音との関わりでも、決して遅くないと思う…と返答。好きな番組を選び、必要な時に必要な時間に見るようにしては…と提案した。
- おもちゃの選び方、買い方について質問。同じボールでも種類の違う物を買った方が良いと友達に言われて、そんなに買わないといけないのか悩んでいた。  
⇒わざわざ買わなくてもハンカチやタオル、ペットボトルのフタなど手触りの違うボールを作ることはできる。大きさの調整もできるので、身近な物を使って遊び道具を作っても楽しいと話した。
- 身体の左右差に対する対応について。  
⇒大事なことだが「左右差があってはいけない」「〇〇しなければ…」という母のわが子に対する視点がちょっと気になる。最近の全体的傾向。
- マッサージよりもふわっと優しく、力を抜いて触れることも大事とお伝える。

**アンケートより (抜粋)****参加目的**

- おもちゃで遊ばせたかった。引野さんにいろいろ聞いてみたかった。
- 出かけて交流し、子育ての知識を得たい。
- 家以外の場所でのふれあい。
- 子どもとのふれあいの時間を作ろうと思った。子どもに合った遊びを見つけたい。

**こころに残ったキーワード・収穫**

- ふれあいの大切さを再認識した。身体の柔らかさなども見ていただけで良かった。
- 何でもどこでも遊びになる。
- 量より質。
- 手づかみ食べをどんどんさせたい。
- ためになるお話をたくさん聞いた。
- いつもみんな優しい。おもちゃが充実している。気になっている事を教えてもらえた。
- いろいろ気になっていた話を聞く事ができ、子どもも楽しく遊んでいた。

**できること、やってみたいこと**

- 教えてもらった手遊びを家でもしよう。
- 子ども同士のおもちゃの取り合いなどの時の対応を実践したい。

**参加による良い変化やご意見**

- 子どもとの時間を楽しめそう。
- 前回できなかったおもちゃ(ゆらゆらするやつ)に乗れるようになった。
- 不安に思っていたことがすっきりした。
- 迷っていることが相談できて安心した。

## 赤ちゃんとお遊ぼう @いかしの舎 5

平成30年11月29日(木) 10時～12時

参加人数 10組 (乳幼児10人 大人10人)

### 内容

- あいさつ、手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (発達のスピード、ハイハイをしっかりする、四つ這いの時期と再学習)
- Q&A、手遊び、アンケート

### アドバイザーより (抜粋)

- 友達を叩く。つねる。頭突きをするというご相談。  
⇒児なりの意図はありそうだが明確ではなく、その状況に応じて理由は複数ありそう。状況としてくすぐり遊びや圧を加える遊び、揺れる遊びを好んでおり、ダイナミックに動きたいという要求もありそう。母親には日常的にしっかりとくすぐる、圧をかける遊び(ぎゅっと圧迫するような)を提案。児の反応を見ながら…。好奇心旺盛でもあり、友達にしていることに興味を持ちやすい傾向もある。母親の「○○したらどうしよう」という不安も強く、行動を抑える方向になりやすかったため、その場その場で遊びの転換、気持ちの切り替えを促す遊びのモデルを提案した。
- 1歳になるからそろそろ抱っこせずに寝かせたほうが良いのでは？  
⇒その子が抱っこを求めている、母親の体力的にOKならば抱っこしてあげてほしい。甘えが自律、自立を促すこととお伝えした。
- 3～5ヵ月。自分の身体と出会う時期。目を見る、見つめ合う。口真似をする。
- 母子2人で昼間の過ごし方に悩んでおられる方が多い。
- 歩き始めが遅い、他の子よりもたくさん食べているなど、他児と比べてしまいがち。基準がないので、仕方がないことではある。「その子」の状態を見ていく視点を共有したり、学び合える場は必要だと実感した。
- 子どもの育ちについて経験・知識・知恵のある人々と、子育て中のお母さんとの交流の場が現代には必要であると思う。ママぱれっとすごく大事!!
- 全体に伝えたこと。「早い速い」と「ゆっくり」どちらが言い悪いわけではない。むしろ「ゆっくり」育っていくことの大切さ、その間学んでいることがあるという視点が大事。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 相談したいことがあった。
- 遊び、子どもとの関わりについて知りたい。
- 同じ月齢の子や親との交流、発達の勉強。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 発達は早いのが良いのではなく、ゆっくりがしっかり身につく事。
- 今の時期(3～5ヵ月)は自分の身体を感じる事を大切にする。
- 子どもがしなければならぬことをやっているのだから、焦る必要はない。
- 疑問を保育士や作業療法士に聞いた。
- 子どもが楽しく遊んでいたし、不安、悩みを聞いていただいたので満足。

#### できること、やってみたいこと

- 歯磨きの仕方や手遊びは実践したい。
- 月齢の小さい時期は、自分の身体を知ることが大事ということが分かったので、しっかりふれあって(身体を触って)遊ぶ時間を作らないか…と思った。
- バランスボール。ここで教えてもらって家でも使っている。とても良い。
- 今の発達や興味に沿った遊びを教えてもらったのでやってみようと思う。

#### 参加による良い変化やご意見

- 比べてはいけないと思いつつ、歯が生えるのが遅いとか、食べる量がすごいと気にしていたけど、うちの子にはうちの子のスピードがあるんだ!!と再確認できた。
- 同年齢の子のお母さんと話を共有することもできてリフレッシュもできた。
- 様々な方と交流したり、抱き方を教えてもらえたりして良かった。

**赤ちゃんとおぼろ @いかしの舎 6****平成30年12月12日(水) 10時~12時**

参加人数 14組 (乳幼児 14人 大人 14人)

**内容**

- 遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (月齢の低いお子さんの遊び方、身近な物をおもちゃにする)
- Q&A、手遊び、アンケート

**アドバイザーより (抜粋)**

- 場、人に慣れにくい。入室後すぐに泣く。母親が近くにいると泣きやむ。  
⇒ままごとが好き。好きな toy で気持ちの切り替え OK だが、母親が近くにいないと難しい。「身体が硬い」とのことで、回施や緩める手遊び、ふれあい遊びを保育士さんに取り入れていただく。
- ハイハイの仕方。足が立ちやすい。ずりばい中心でハイハイをしないというご相談。  
⇒U/E (上肢) の支持の経験。
- 特に月齢の低いお子さんにとって、遊びはおもちゃで遊ぶことではなくて、その場で自分の身体を動かしていること自体が遊び。舐める、じーっと見ている、立ち上がる、ハイハイなど。お母さんは「遊んでいるんだな」と同調してあげる。
- 月齢が高くなると、好みも明確になってくる。好きなこと、道具が大事になってくる。買ったおもちゃじゃなくても良い。身近なもの。サザエのフタをつまんで入れたり。ヨーグルトのカップで移し替えなど。
- 同じ月齢の他のお子さんと違うものに興味があっても、わが子が何に興味を持っているのかに焦点を当てる。

**アンケートより (抜粋)****参加目的**

- 子どもの気になることを先生に聞いてみたかったため。
- いろいろな遊びや情報を知りたい。
- 子どもの相談 (人見知り)、遊び方の関わり方。
- 遊び方について知りたいと思った。他のお子さんと関わりを持たせたい。
- 子どもを遊ばせたい。私自身も学びたい。

**こころに残ったキーワード・収穫**

- 子ども一人一人に興味が違うので、その子に合った遊びを。
- どんなものでもおもちゃになる。
- 信じてゆっくり待つこと。
- 子どもの話を聞いてもらえた。子どもを見てもらえた。
- 他のお母さん方とも話ができて良かった。
- 手遊びをもっと知りたかった。

**できること、やってみたいこと**

- 手遊び。
- うた遊び。

**参加による良い変化やご意見**

- 他のお母さんの意見が聞けてとても良かった。
- すぐにダメって言わずに、いたずらを受け入れようと思う。
- おもちゃでたくさん遊び、左だけでなく右の発達を促すようにした。娘はとても楽しそう。

## 赤ちゃんとお遊ぼう @いかしの舎 7

平成31年1月31日(木) 10時~12時

参加人数 13組 (乳幼児13人 大人13人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (おもちゃの選び方や遊び方のバリエーション、身体作り、歯磨き、裸足で過ごす意味)
- アンケート、片付け

### アドバイザーより (抜粋)

- 歯磨き嫌がる。6~9ヶ月。嫌がるお子さんが多い現状。  
⇒焦らない。ブラシが口の中に違和感がある。中には「痛い」と感じるお子さんも。身体から顔のマッサージや口遊び。嫌でも少しはやってみることも時には必要。歌などで見通しを持って。
- 成長と共にある母の悩み。実年齢よりも小さく見えて「何ヶ月？」と聞かれる事。どう応えていくと良いか。  
⇒年齢の見え方についてはこれから表情も動きも言葉も成長していくので幼く見えることは減ってくる可能性大。どう答えていくか…相手・状況によって変わるので、こうしなければとか、いつも同じようにとか思わず柔軟に考える。
- 靴下はできるだけ脱いで、ずりばい、ハイハイ、歩くことをお勧め。特に足の親指で「ける」ことを大事に。
- チェーンリング。これだけ見ると、遊びのイメージが湧かないし、みんなそれぞれ遊び方のイメージが違うかもしれない。触る。振る。出したり、入れたり。タッパーに入れる。ラップの芯でずり下ろす。板から滑らせる。浅めの器に並べる。小さい器に移し替える。子どもは勝手に遊び始める。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 家での過ごし方、遊び方を聞きたくて。
- 第2子。いつもお兄ちゃんと一緒になので、1人だとどんな遊びができるか。どんな遊びが月齢的に向いているか知りたかった。
- いろいろなおもちゃで遊んだり、お友達と関わらせながら私自身も相談したかった。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 動きで身体作り。
- 形のないものに子どもは遊びを見つける。
- 大人が何するんだろう?と思うおもちゃの方が遊びのバリエーションがある。
- 必ずしも買ったおもちゃが良いわけではない。子どもは自分で遊びを工夫して遊ぶ。
- 本人がしたい動きをたくさんさせてあげると良い。
- まだ早いと思っていたおもちゃに興味津々だったこと。
- 靴下を脱がす。足でしっかり床の感触を感じさせる大切さ。
- 子どもも楽しく遊んでいたし、他のお子さんから刺激を受けたと思う。私も他のお母さん方と話ができてホッとした。良かった。
- 近い月齢のママと話せて気分転換できた。
- 悩み相談もでき、いろいろ学べた。
- いつも以上にたくさん歩き元気に遊んだ。

#### できること、やってみたいこと

- 手作りおもちゃと一緒に遊んでみたい。
- チェーンを使った遊びを取り入れてみたい。セリアものぞきたい。
- 膝に乗せてリズムに合わせて遊ぶ。
- 手遊びが良かった。外で午前中遊んで、午後おもちゃで遊ぶようにしたい。

#### 参加による良い変化やご意見

- いつも先生方やお母さん方にアドバイスをいただき助かっている。毎月来させていただいて癒しの時間。
- 無理に歯磨きをする必要はないこと。唾液やお茶で流されること。
- 初参加で緊張していたけど、最後にはどんどん進んで遊んでいてすごく良かった。
- 1人で集中して遊べる姿が見られて良かった。春から兄が幼稚園なので、この子と2人の時間も楽しめたらと思う。

**赤ちゃんとお遊ぼう @いかしの舎 8****平成31年2月28日(木) 10時~12時**

参加人数 6組 (乳幼児6人 大人6人)

**内 容**

- あいさつ、手遊び、自己紹介、グループトーク
- お話 (聴覚の発達、ゆっくりしっかり学ぶこと、身体を動かして遊ぶ手遊び)
- アンケート

**アドバイザーより (抜粋)**

- 寝返りをしない。母、村口先生から寝返りの促し方を教わっておられた。上手に対応しておられたので、日常より遊びとして取り組みやすいようにうた遊びに合わせてできるように保育士の先生にうた遊びを教えてください。うつぶせ苦手。短時間でも母の胸やお腹の上でうつぶせにして遊ぶのは楽しんでおられるようなのでその遊びも続けてもらう。
- 転びやすいので、何か良い運動とか遊びがあったら。  
⇒気持ち急いでいるから身体がついていかないのか。注意散漫になりやすいからか。靴の Body Image がまだ合わないからか。和室では転ぶ様子見られず。足指やかかとをくるくる触ってあげる方法を提案。午後もずっと遊び続けるが、少しずつ落ち着いてくる。
- お昼ご飯をいただきながら、離乳食の与え方についてアドバイスができた。
- 少人数だったので子ども達の遊びも広々と、お母さん同士の話が深まっているようで(盛り上がり) 個別的にも少し相談が受けられたし、希望のあった先輩お母さんの話を聞く場(グループ) ができたのも良かった。
- 1歳、1歳1ヵ月の母より。わが子は生まれた時からずっと夜泣きして、起きて、おっぱい飲んで、寝る、が続いているとの事。お互いに聞き合って安心された様子。
- お母さんから靴の相談。4月から保育園。お子さんは靴を履くのを嫌がる。  
⇒バランスが取りにくいからか? 靴自体が窮屈か? 靴下も脱ぎたがるとの事で裸足が好みの様子も伺える。靴への興味はあるので、母が履いている所を見せたり、保育園で友達の力を借りて少しずつ…3歳くらいの時は草履を勧めたい。

**アンケートより (抜粋)****参加目的**

- 体の動きについて聞きたいことがあった。
- 交流。子どもの身体や遊びを学びたいから。

**こころに残ったキーワード・収穫**

- 子どものペースに合わせる。
- ハイハイの仕方と身体の仕組みが分かり良かった。家で身体を使った遊びの仕方がわかった。
- 先生に聞きたい事が聞けた。お母さん達とも話ができた。
- 今日は人数が少なかったので先生方とゆっくり話ができて良かった!
- 情報もたくさん得られたし、とてもリフレッシュになった。
- 細かく丁寧にいろいろ教えていただいた。

**できること、やってみたいこと**

- 抱っこして落ちるよ、落ちるよとつかまらせること。
- 布団や家具を利用したすべり台、遊具を作ってみること。
- 家での身体を使った遊びの仕方。

**参加による良い変化やご意見**

- 何回か来させてもらい、わが子、他の子の成長を感じた。
- ダメだよと言うのも大変だけど、頑張って続けて言い続けていこうと思った。周りのお子さん達に手が出ずに、一緒に遊べる日が近いと良いなあ。
- 珍しく親から離れてよく遊んでいた。
- 遊びの幅が広がった。

## 赤ちゃんとお遊ぼう @いかしの舎 9

平成31年3月14日(木) 10時～12時

参加人数 9組 (乳幼児9人 大人9人)

### 内容

- あいさつ、手遊び、ハイタッチセッション、グループトーク
- お話 (子どもが好きそうな物をおもちゃにする、布の遊び方、物を投げる意味、掴み食への必要性)
- 手遊び、アンケート

### アドバイザーより (抜粋)

- どんな toy を買ったらいいか?? 今はマグネットブロック、入れ子式のコップで遊んでいる。身体を動かす事も好きだからトンネルの購入を考えている。  
⇒ブロックや積み木は年齢に応じて遊び方が変わるので (今は舐めたり、叩き合わせたり→構造的に) 長年使える toy。入れ子式コップも重ねたり、入れたり出したり、他の物を入れたり、入れ移したりするので、長年遊べるタイプの toy である事をお伝えする。室内で身体を動かすのは、布団、座布団、クッションなどで段差や山、斜面を作ってあげる事も楽しい遊びになる。不安な足場や段差を進んだり、越えていく事も子ども達にとっては挑戦的な遊びである。「toy」でなくても子どもにはおもちゃ。⇒シフォン。つないで出したり、入れたり。
- 手づかみ食はいつから?  
⇒1歳6ヶ月、1歳8ヶ月のお母さんから、1歳前からしていて、今も手で食べる事もあるとのこと。手づかみ食への必要性についてお伝えする。触感、手触り、大きさ、柔らかさ、等々の触る体験により、力加減や道具の操作にもつながること。手→口により、口の位置の確認。口の大きさなど、どのくらい開いたら良いかなども練習している。道具 (スプーン、箸) を口に入れる時の操作の事前練習をしている。
- オルゴールなど、投げてほしくない物を投げる。「投げたらダメ」と言っても伝わらない。  
⇒投げるのが上手になってきて、それ自体が楽しい時期。→柔らかいボール、お手玉など投げても OK の物。投げてほしくない物はできるだけ手の届かない所へ。or 床面がある程度投げても OK の所で投げるか…。伝え方。「ダメ」と言われるとやりたくなくなってしまうのが人間の性…。「ここに置いてね、入れてね」とか「上手に置けるかな?」とか「ママの所に持って来て」など、してほしい方の行動を言葉にするのが良いかも…とお伝えする。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 他のお母さんとの交流。子どもと一緒に遊べるもの探し。
- 同じくらいのお友達とふれあいできるため。人見知りなので慣れてほしい。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 離乳食。遊ぶ道具作り。
- シフォンハンカチ。
- 完成されたおもちゃ以外の身近な物でも楽しめる。
- 子どもが楽しく遊んでいた。他のお母さんと交流できた。

#### できること、やってみたいこと

- トンネルを買ってみる。
- 子どもの関心に合わせたおもちゃ選びをしたい。
- 手遊び。
- ゆとりを持って手づかみ食への幅を広げようと思う。「～しちゃダメ」ではなく「～してね」ということを引き続き気を付けていく。主人にも気を付けてもらおうと思う。

#### 参加による良い変化やご意見

- 時間が経つとのびのび遊べて良かった。
- 手作りおもちゃ。他のお母さんや子どもさんと話したり、見たりすることで気分が変わった。年齢が上の子どもを見ると成長が楽しみになった。
- 不安なことなど解消された。4月から保育園へ入る。毎回参加するのが楽しみで、情報交換もでき、気分転換にもなり、大変お世話になりました!
- 悩みが減った。気分転換になった。

**ママはれっと**  
ママと赤ちゃんの居場所

## 「アラ40ママのひろば」

日ごろ言えない悩みも同年代なら言えるし、  
気持ちもわかる！ 40歳前後で出産・子育て  
をしているママとお子さん限定のひろばです。

### 【狙いと対象者について】

40代のママ、プレママの気軽な悩み相談を目的  
に、0-3歳児を養育中の該当者を対象に、7月  
～翌年3月まで、二カ月に1回のペースで全6回  
を開催した。

対象者は、職歴が長かったり、県外からの流入者  
なども多く、地域とのつながりが薄い傾向も。体  
の悩みや、2番目の子どもを産むかどうか、仕事  
の復帰についてや自分自身のお産についてなど、  
初対面では話しづらい深い話題になることもあった。

時 間	10時～12時・要申込
アドバイザー	助産師・保健師・看護師 村口裕美さん
開 催 日	7/31、8/28、10/25、11/22、1/24、2/21
対 象	40歳前後のママと0-3歳児・プレママ可・定員12組程度

## アラ40ママのひろば @くらしのたね 1 平成30年7月31日(火) 10時~12時

参加人数 8組 (乳幼児8人 大人8人)

### 内容

- 手遊び、自己紹介
- お話 ( 偏食、食べる時間の長さ、卒乳と断乳、お母さんのリセットする時間 )
- おもちゃ紹介、Q&A、アンケート、手遊び

### アドバイザーより ( 抜粋 )

- アラ 40 だから努力されているんだなと感じる場面が多かった。がんばり過ぎず、型にはめた育児にならないよう、自らが楽しみ、子どもが観察できる余裕のある育児時間の過ごし方の提案を行った。( 食事、排泄、遊びについて )
- 育てにくさを感じるお母さんのほとんどが身体的な発達の遅れを感じた。「今」という点でなく、生後間もなくからという「線」でつなぐ成長・発達と関わり方の実践を行った。
- 熱心に問題意識を強く持った母親達を感じた。今回の企画は生活の場・家庭で、実践ができるよう配慮されている。成長していけるのは子どもよりむしろ母ではないだろうか。

### アンケートより ( 抜粋 )

#### 参加目的

- 村口先生の話が聞きたい。
- 情報交換。
- アラ 40 ママと交流したい。
- 育児の悩み相談。
- 子どもの遊び。
- 子どもと外出したい。
- リフレッシュ。

#### こころに残ったキーワード・収穫

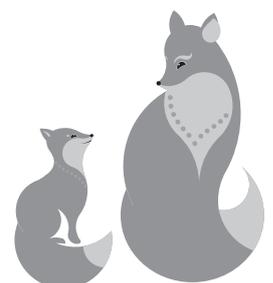
- 離乳食の進め方を参考にしたい。
- 卒乳の話が聞けた。同じような人の話が聞けた。
- 偏食の子どもに対しての食事の工夫に関してとても勉強になった。
- 村口先生と直接話ができ良かった。
- 「赤ちゃんの支えはママ、ママの支えはパパ」という言葉が心に残った。
- 勉強になった。子どもと遊んでくださりありがたかった。
- 産後間もなくから、ずっと気になっていたことの解決への糸口が見つかった。はじめての場所ではじめて会った人達と、私から離れて遊ぶ姿が見られて感動した。

#### できること、やってみたいこと

- 音の出るおもちゃに興味を持っていたので買ってみたい。

#### 参加による良い変化やご意見

- とても良かった。
- 先生の話をもっと聞きたかった。
- 実のある話ばかりだったので、マイクがあると良かった。
- いつもとても楽しい。
- 大変勉強になった。また参加したい。
- 子ども主体のイベントがあると助かる。特に真夏や真冬は、外で体を動かせないのです。



## アラ40ママのひろば @くらしのたね 2 平成30年8月28日(火) 10時~12時

参加人数 10組 (乳幼児10人 大人10人)

### 内容

- 手遊び、他己紹介、おもちゃの紹介、自由遊び、アンケート、手遊び
- 村口先生がお休みのため、スタッフがワールドカフェ形式で参加者が話しやすい場を作り、トークセッションを中心に行う。話題になったのは、**離乳食や偏食について**。**2人目の子どもをどうするか**。**仕事復帰について**など。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 40前後での子育ての悩みがあれば、聞きたいと思い参加した。
- 同年代との情報交換や悩み相談。
- 情報交換。
- 悩みの解消。
- 同じ世代のお母さん達とお話したり、情報共有をしたかった。子どもに他の子と一緒に時間を過ごしてほしかった。
- いつもとは違う場所に行ってみたかった。同年代のママ達と話したかった。
- 日頃の悩みを共有したり、何か子育てのヒントがあればと思い。
- 同じ悩みを持った年の近いお母さんに会おうため。
- 話し相手がほしかった。
- 同年代と話したい。(4件)
- いつも楽しく過ごせるから。勉強にもなる。
- 遊ばせる場所や相談がしたかったから。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 同世代だからこそ共感でほっとした。赤ちゃんと長居できる場所。参考になった。日ごろ新しい場所だと離れてくれない子どもが、めずらしくズリバイして自由に過ごしてくれた。
- 子どもが同級生のママから、幼稚園や習い事の情報をいただいた。とても良かった。
- 子どもは楽しそうだった。
- 共通の悩みや話ができて良かった。おもちゃがたくさんあって、保育士さんも遊んでくださって助かった。
- 子どもを遊ばせながら話せて良かった。
- 子どもがおもちゃの取り合いを経験した。
- 年齢的な話はしやすかった。
- 満足。とても珍しいおもちゃもあって楽しめた。
- 普段子どもと2人きりなので、同世代のママといろいろ話ができて良かった。
- とても満足した。近くに住んでいる方とお話ができて良かった。2時間スタッフの方が仕切ってくださいありという間だった。

#### 満足度

- 満足。他のお母さん達の話が聞けるのでありがたい。
- 村口先生のお話も楽しみにしていたので残念だった。
- 手遊びなどの時間がもう少しあっても良かったなと思った。
- 今後もここであればいいのに。
- もっといろいろな人と話してみたかった。
- スタッフの方々のお気遣いがとても暖かくてうれしい。

#### できること、やってみたいこと

- 子どもの成長の助けになる遊びや話を覚えたい。
- 寝かしつけを試してみたい。
- できることは何でもやってみたい。

#### 参加による良い変化やご意見

- またこの近くで開催してほしい。
- 2人組になってお互いの紹介をするのはとても良い企画だと思った。

## アラ40ママのひろば @いかしの舎 3 平成30年10月25日(木) 10時~12時

参加人数 12組 (乳幼児12人 大人12人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチ、自己紹介、グループトーク、ワーク
- お話 ( わらべうた、がんばらなくても良い離乳食の与え方、アラ40ママの身体の悩み )
- Q&A、アンケート、手遊び

### アドバイザーより (抜粋)

- 40代のママの気持ちを出させる時間が持てたことは良かった。嘘のない言葉で育児生活を話させるように促せて良かった。
- 困りごとは個別ではあったが、ショット相談で解決する内容のものが多かったので安心した。問題解決する能力と時間はあると思われる。あとは継続できることのみ。
- 食の問題は育児上、大きな困り事と感じる。身体との関係を伝えるとよく理解される。母親の「育ち」の中から生まれる問題でもある。母親モデルが必要な時代かなと感じる。
- 歌を歌うことへの促しができた。ゆとりのある日々の提案は繰り返し行うことだと思う。
- アラ40ということで、子どもではなく自分の身体の悩みを言われる方が多かった。身体がだんだんしんどくなるけどみんな同じなんだと感じ、表情が明るくなっていたようだ。
- 同じ月齢の母子が集まって相互の日常を語り合い、笑い、戸惑いながらの時間を感じておられる。共有の場が提供できている。時々、育児不安に対して安心材料などを指さすような言葉は必要だった。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 同年代との悩みの共有。解消。(3件)
- 同年代の人達との交流。(3件)
- 面白そうなイベントだと思った。
- 助産師さん達のアドバイスがほしくて。
- 同じ年くらいの方で、同じくらいの子どもがいる方と話したり聞いたりしたいから。
- 日々の育児で相談できる人が母親しかいないので、他の方と仲良くなれたらと。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 体力的な悩みがみんな同じで安心した。
- 成熟した女性。同じようにみんながんばっていると思うとがんばれる。
- 離乳食、水の飲み方、歌の大切さ。
- 離乳食はがんばらなくても良い。(2件)
- 歌。何かする前とかにいつも同じ歌を歌う。
- お母さん方と悩みを共有して安心できた。これからの育児の参考になった。
- 同じ月齢の子のママさんと話しができた。
- 先生のお話もためになったし、他のお母さんのお話も聞けて良かった。
- 同年代なので落ち着いた。話しやすかった。

#### できること、やってみたいこと

- わらべうたを歌ってみたい。
- 音楽を聴くことが好きなので、わらべうたと一緒に歌いたい。
- 私が音痴なので歌はなるべく歌わないようにしていたけど、もう少し毎日の生活の中に歌を取り入れてみようと思った。
- うた遊びは今3か月でできる事なので、日々に取り入れていきたいと思う。

#### 参加による良い変化やご意見

- みんな思っていること、感じていることは同じなんだと少し安心した。
- 参加できて良かった。自分らしく無理せずがんばっていく。
- 子どもも楽しそうだったし、私もいろいろお話ができて良かった。
- シェアタイムが長いのは、いろいろな人と話しやすくて良かった。
- 離乳食メニューで悩んでいたが、同じメニューでも大丈夫と聞いて安心した。

## アラ40ママのひろば @いかしの舎 4 平成30年11月22日(木) 10時~12時

参加人数 14組 (乳幼児13人 大人14人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチ、グループトーク
- お話 (10ヶ月はどのような時期か? 発達と成長の違い、食につながる手の動き、野菜スティック)
- シェアタイム、Q&A、アンケート、手遊び

### アドバイザーより (抜粋)

- グループの話し合いがはずみ、困り事へのアドバイスも同時にできたことはとても良かった。
- プレママ参加。赤ちゃんと触れ合いたい。胎教真っ盛りの時期に子育ての喜びと大変さを経験されたことは貴重。多くのプレママ参加を望みたい。Babyの足底に触れながら子宮の中で動く姿をイメージしてもらった。
- 9・10・11か月。離乳食を食べてくれない。本日のテーマ「10ヶ月はどのような時期か?」であった。食べられない理由は環境、お口の機能、与え方などが挙げられ、その準備は授乳時から。また「身体の柔軟さ」がキーワードであると伝えた。個々で振り返ってもらい、明日からの日常に役立ててほしいと思う。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 同年代の方と時間を共有したかった。
- 第2子のタイミングなど、みなさんどうお考えなのか聞きたい。
- 友達がほしい。情報交換。
- いかしの舎に来てみたかった。新しいお友達と交流したかったから。友達づくり。
- 赤ちゃんと接したことがなく不安だった。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 離乳食について具体的なことがわかって安心した。
- 発達と成長の違い。月齢ではなく、できるできないはタイミングや個人差がある。
- 発達と成長の違いについて。改めて育児を考えるきっかけになった。
- 必ず成長し、今困っていることは解決する。
- 野菜スティックを持たせる。
- 野菜をしっかり食べること。
- 発達。全てはつながっている。
- 子が身体を動かしていっぱい遊べていたので、楽しんでいたようでうれしかった。
- 食べ方と身体の成長につながりがある。
- 本人が普段とは違うおもちゃに大喜びしていた。離乳食での悩みも私だけではないと知り、気持ちが楽になった。

#### できること、やってみたいこと

- 離乳食の掴み食べ。日頃困っていたから。
- 母親から少し離れること。手遊び。
- 日々の関わりの中で、子どもの動きをしっかり見て関わるようにしたい。
- 食につながる手の動きで、手首を回す遊びを一緒にやってみようと思った。
- 手遊びは簡単にできそうだった。
- ハイタッチ体操。
- 野菜を掴ませて食べさせたいと思う。
- チラシをもらったので、いろんな行事に参加しようと思った。
- スプーンを持ちたがっているのを、無理やり取り上げていたが、今度からは好きなように持たせてみようと思った。

#### 参加による良い変化やご意見

- 子どもの成長を楽しむだけでなく、身体の作り(成長)も見ていきたい。
- 小さい子と比べ、発達・成長を感じた。情報交換の時間がたくさんあって良かった。
- 近い月齢の子達と触れ合えて楽しかった。
- 人見知りが多いが、初めての場所で時間とともに慣れてきたので大きな変化と思っている。畳の落ち着いた場所で良かった。
- 少しの間離れていても、いろんな赤ちゃんと触れ合い泣かずに過ごせていた。

## アラ40ママのひろば @いかしの舎 5

平成31年1月24日(木) 10時~12時

参加人数 5組 (乳幼児6人 大人5人)

### 内容

- 手遊び、ハイタッチ、グループトーク
- お話 (アラ40の出産、帝王切開と経膈分娩、家事と赤ちゃんの情緒安定)
- Q&A、アンケート、手遊び

### アドバイザーより (抜粋)

- 出産について話し合った。高齢出産でのリスクとそれに伴う育児上の心配事を繋げられた。  
⇒例えば帝王切開、陣痛促進剤、普通に分けて。不安だった思い、育児の大変さ、次の子ども(妊娠)への期待など。本音で話をされていて大切な時間だと判断した。
- 四つ這いの大切さ。姿勢についての話。⇒少人数だったため、どのお子さんの動きも観察できた。
- 2人目の妊娠について涙されたママがおられた。「1人目に対して自分の感情を出してしまって…こんな私が母になっていいのかと思う日々。妊娠できるチャンスは今しかないが病院に行くと人工授精の話をする。そこまでしてという思いが重なり、自分で決められない。」とのこと。  
⇒高齢ママならではの結婚生活上のジレンマが理解できる。しばらく自分の気持ちを吐き出され、再び第1子と遊ばれる姿は笑顔でいっぱいであった。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 同年代の方との情報交換と友達作り。
- 同世代の方と話ができる良い機会
- 交流、関わり方を勉強するため。
- アラ40ママのひろばが気になっていた。
- 年が近いといろいろと話せそうと思った。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- いろいろな身体の発達の促し。大切な事を学べた。
- 朝のルーティーンを作る。手を使うことが大事。
- 0歳の時の関わりが大切だと再認識した。
- 村口先生と個人的にも話せて全体の話も聞く事ができてとても良かった。
- 料理をする時ぐずっているとそばに連れてきて様子を見ているが、ただそばにいる事だけでなく音やにおいなど感覚を大切にしていきたい。
- 運動の話などたくさん聞いた。手のことなど気になっていたので聞いて良かった。
- 40代ならでのこと。発達のこと。いろいろ聞いて良かった。

#### できること、やってみたいこと

- 身体の弱い部分があったので気を付けていきたいと思った。これからいろいろな経験をさせていかなければ…と思った。
- 日常生活のちょっとしたこと。(家事の様子見せるなど) どんこ遊び。
- 起きている時は一緒に料理などの家事を見せながら関わっていきたい。
- 子どもとの向き合い方を考え直そうと思った。忙しくて忘れかけていた。
- 散歩。どんこ遊び。
- 日常のちょっとした心がけでできそう。

#### 参加による良い変化やご意見

- 少人数だから話しやすかった。
- 話を聞いたり、したりする事で安心できた。ありがとうございました。
- もっと手を柔らかく使えるようたくさん伸ばしてあげたいと思った。少人数でたくさん話が聞けてうれしかった。
- 子どもとの向き合い方を考え直そうと思った。忙しくて忘れかけていた。

**アラ40ママのひろば @いかしの舎 6****平成31年2月21日(木) 10時~12時**

参加人数 9組 (乳幼児 10人 大人 9人)

**内 容**

- 手遊び、ハイタッチ、グループトーク
- お話 (子どもとの信頼関係、平衡感覚、両手を使う、卒乳・断乳の考え方)
- シェアタイム、Q&A、アンケート、手遊び

**アドバイザーより (抜粋)**

- ママ達のトークが弾みに弾んで時が流れた半日だった。
- スタッフと私とでお子さん達の遊びを通しながら、発達の芽を確認できた。信頼関係ができた場であり、心から楽しんでいる親子の姿が見られた。「家庭の味」に近い環境を感じてもらい、アラ40世代のがんばりを緩める努力をスタッフとともに行うことができたと感じる。
- 発達に課題を持った親子1組に対して、個性はあったがそこにいるみんなと自然に共有でき、母の笑顔が素直で印象的だった。
- スタッフと食事しながら(共食)離乳食の食べ方アドバイスができた。子どもがしっかり食べる様子が見られて良かった。

**アンケートより (抜粋)****参加目的**

- 年代の近いお母さんと話がしたかった。
- 同世代にしか分からない悩みなど聞きたいと思った。
- 40代前後で出産してからの悩みや相談の話をして自分にも気持ちの余裕が欲しい。
- 友達から聞いて興味を持ったから。
- ここのスタッフの方、先生が好きなので。
- 同世代のママさん達といろいろな話がしたかった。
- 参加してお母さん達と話したり、子ども達を見て、育児をまたがんばろうと思える。

**こころに残ったキーワード・収穫**

- 入浴方法。
- 癒されることが食事。
- 自信をつけさせる。心から楽しく遊ばせる。
- いろいろな話が聞けて生活に生かせる!!
- 聞きたいことが聞けて良かった。
- 悩みが同じだった。
- もう少したくさんの人と話がしたかった。
- お母さんが一番気にかけることは、楽しんで遊んでいるかを気にかけてあげること。
- たくさんゆっくりお話ができた。先生から子どもの左手の使い方とバランスを指摘してもらった。気が付いていないことだったので発見だった。
- 先生やいろいろなママ達、スタッフの方とお話できてスッキリした。

**できること、やってみたいこと**

- お風呂で遊ばせながらの入浴。
- 転んだ時など一緒に面白がる。
- 手遊びをする余裕を作ってがんばる。
- たくさん外遊びをする。
- 先生に詳しくアドバイスをいただき、声かけ遊びなどこれから試してみたい。
- 歌遊びなど一緒に楽しめる遊び。
- 読み聞かせ、お風呂の入れ方など。

**参加による良い変化やご意見**

- 家にいるだけでは味わえない空間でこういう場を与えてくださって感謝している。
- いつもありがとうございます。このような場を作っていただき、同世代の方と話ができ、同じ悩みを持ち安心してまたがんばるパワーになっている。
- いつも楽しいので感謝している。ありがとうございます。
- ここに来ることで私自身も笑顔になれ、育児にも良いことや、自分で気づけなかったことに気づくようなアドバイスをくれる。

# 心が通い合う「場」になるために

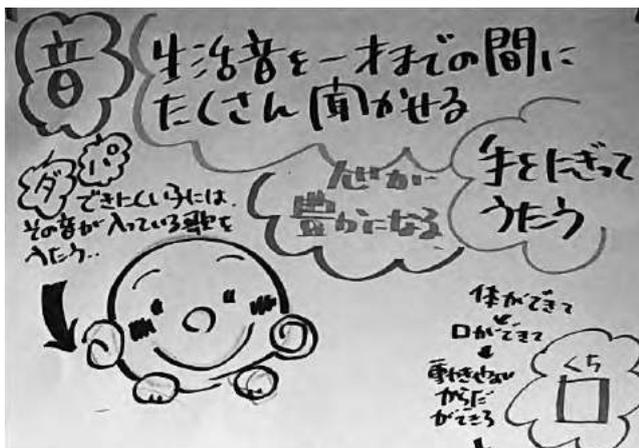
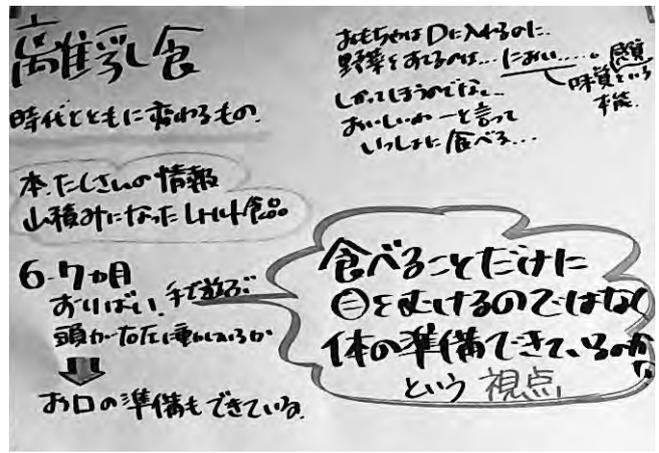
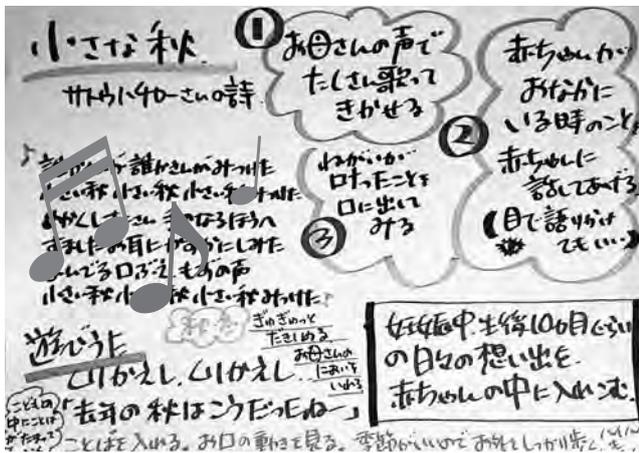
今回、講義形式のママぱれっとや、支援者向け研修の場で多用したのが「グラフィックレコーディング（グラレコ）」という手法です。情報を見える形で共有することで、その場にいる者同士で、様々な意見の交換が進み、場を活性化することに役立ちました。

印象に残っているのが、以下にご紹介している「赤ちゃんのいる生活の中で歌いながら秋を楽しもう!!」として、アドバイザーの村口さんがお話してくれた回です。アドバイザーに促されて歌の上手な保育士が歌を歌い、全員がそれに声をあわせました。楽しさの中で話が広がり、その様子からみんなにマイクを向け話してもらう場になりました。ママぱれっとでは、全回を通じ意識して、何らかの形でママたちが感情を表出できる仕組みを取り入れてきましたが、歌うことでそれが促進された感がありました。

支援者の側に伝えたいことはたくさんあり、それを程よい「圧」で当事者であるママたちに受け取ってもらうことは、なかなか難しいことでしたが、少なくとも、心地よく、心の通い合う瞬間が生まれていたと感じています。



赤ちゃんのいる生活の中で歌いながら秋を楽しもう!!  
2018年10月24日のアラ40ママより



**ママはれっと**  
ママと赤ちゃんの居場所

## 「子リスのひろば」

お友だちと仲良くできなかつたり、言うことを聞かなくて叱って、後悔することってありませんか？ お子さんとのかわり方を先生と  
いっしょに考えてみましょう！

### 【狙いと対象者について】

育てづらさを感じる2-3歳児に対する気軽なプレ療育・発達相談を目的に、7月～翌年3月まで、2カ月に1回のペースで全6回を開催した。

対象者は、育てづらさを感じながら2-3歳児を養育する保護者。障がいのあるなしで振り分けるのではなく、それぞれの困り感を聞き、日々の育児の中で、自らが行える手当や気持ちが楽になる視点の持ち方を一緒に考える。

時 間	10時～12時・要申込
アドバイザー	作業療法士/引野里絵さん
開 催 日	9/20、10/17、11/28、1/30、2/27、3/13
対 象	2-3歳児と保護者・定員10組程度

## 子リスのひろば @いかしの舎 1

平成30年9月20日(木) 10時～12時

参加人数 1組(乳幼児1人 大人1人)

### アドバイザーより(抜粋)

- 兄の通っている病院の診療予約をしているが行くかどうか迷っている。  
⇒ 今回のお子さんについては、集団療育の必要性があるかどうか、今回の姿だけでは判断がつかねるが…母には、身体の動かし方、全身を使う経験は重ねた方が良い事を伝える。

### アンケートより(抜粋)

- 子どもの遊ぶ場。親の相談のため参加した。先生方とも話しながら、子どもの遊んでいる姿が見られて良かった。筋力の話、身体の使い方。こういった動きが苦手かを教えていただき大変勉強になった。

## 子リスのひろば @いかしの舎 2

平成30年10月17日(水) 10時～12時

参加人数 3組(乳幼児3人 大人3人)

### アドバイザーより(抜粋)

- 言葉が出ない。集団の中での遊び、活動、マイペース。  
⇒ 療育の場に参加するという第一ステップを踏み出され、不安と期待もあると思うので、その点でもお母さんを気に掛けてあげたい。言葉の発達は「発語」という目に見える形にこだわらず、心と心の触れ合い、「伝えたい」を育てていく事が大切とお伝える。
- 難病あり。この1ヵ月での成長が目覚ましいとの事。  
⇒ 母親へ食卓椅子の工夫について、外遊びについてお伝える。芝生の上や砂場など。外用の靴について次回の病院受診時に相談してみても良いかもとお伝える。

### アンケートより(抜粋)

- 病気を持っていて、ゆっくりの発達をしている。どうしたらより良く身体を動かすことができるのか、アドバイスをいただきたくて参加した。ママぱれっとは8月から参加している。楽しいおもちゃがたくさん、保育士や助産師の先生にもいろいろ子育ての相談もできて、とてもありがたい空間だなと思いながら利用している。

### こころに残ったキーワード・収穫

- ゆっくりお話をさせていただきとても良かった。
- お食事イスの調整方法や今楽しく遊べそうな遊びをいろいろ教えていただけた。
- 人とくらべない。

### 参加による良い変化やご意見

- 先生や保育士さんに日頃悩んでいることをゆっくり聞いていただいて気持ちが楽になった。
- 自分一人では気づけないこと、わからないことをいろいろ教えていただけた。子どももとても楽しそうに遊んでいた。
- 次回も参加したいと思う。
- 自らマグを手で持って飲めるようになった。



**子リスのひろば @いかしの舎 3****平成31年11月28日(水) 10時～12時**

参加人数 6組(乳幼児7人 大人6人)

## アドバイザーより(抜粋)

- 言葉が出ない。  
⇒「伝えたい」「伝える必要がある」間を持たせる。母には気持ちを、楽しい、うれしい、イヤ!の中で育てていくことの大切さをお伝えする。
- 手を口に入れること。歯磨き。啞えたまま動き回るのであぶない。  
⇒手を口に入れるのは、緊張時が多い様子。「手を口に入れない」「手を出す」と注目せずに、楽しく遊ぶこと(手を口に入れていてもいなくても)に注目することが大事と伝える。
- 発達がゆっくりなので同世代の子を持つお母さん達とは喜びを共有しにくいですが、ここに来ると「できるようになった」ことの喜びを共有できるので嬉しいと言っていた。低年齢で療育、リハもなく病院通いをしているお母さんの葛藤を表出できる場も必要。

## アンケートより(抜粋)

- 「ケンカはさせて良い!」という言葉。「今まで良い子だったけど、反発することが出てきたのは正常な成長ですよ!」と言われ安心した。
- 座位で物を遠くに置いて取らせるなど、子どもの発達に活かそう。
- 前回、抱っこでしか寝ないことや夜泣きで困っていたがアドバイス通りたくさん抱っこしてあげたら、夜泣きはなくなり落ち着いた。

**子リスのひろば @いかしの舎 4****平成31年1月30日(水) 10時～12時**

参加人数 8組(乳幼児11人 大人8人)

## アドバイザーより(抜粋)

- 今の様子を聞いてほしい。落ち着かない。座ってられない。  
⇒4月から療育(福祉)6月から保育園(医療)、角や暗い所へ行く意味を伝える。
- 言葉だけで文章にならない。単語のみ。どのようにしたらもっと発達するのか。  
⇒「これからっぽ」と2語文も。「言わせる」と言うより言葉がけの種類を増やしてみる。
- 面談で人に集中できない、練習をした方が良いと言われたが、どんな事したら良いのか。  
⇒集団の流れになりにくい、理解は悪くなさそう。継続して来られる事をお勧めする。
- 集団が苦手。1か月前から特に集団の場に行くと固まる。障害かどうか気になっている。  
⇒障害があるない関係ない。関わりは同じ。その子が安心して遊べるように。

## アンケートより(抜粋)

- 子どもの様子を見てほしかった。いろいろな子と関わってくれたら良いなと思った。
- 想像力や個性を活かす。焦らない。時間より質で甘えさせてあげる。
- 言葉が遅いので、リズムに乗って「貸して」「ありがとう」を言うこと。
- 自我の形成期、抑えてしまうと良い面も出なくなってしまう…にドキッとした。良くないことをした時、子どもの真意を聞いてあげること。
- 子どもがのびのびできた。先生方の関わりが素晴らしい。
- 引野先生にお話を聞いてもらえて納得。他の子の相談やアドバイスも聞けたらいいなあ。
- チカクの先生方「お久しぶりですね」「大きくなったね」と声を掛けてくれることが「見てくれている人だ」と思えて嬉しい。

## 子リスのひろば @いかしの舎 5

平成31年2月27日(水) 10時～12時

参加人数 4組 (乳幼児6人 大人4人)

### アドバイザーより (抜粋)

- AくんがBくんを噛んでしまう。皮が剥けるくらい。言い聞かせてもなかなか直らない。児相に相談したこともある。「ピシッと叱る」ことを勧められたが、やってみたところ目を合わせてくれないようになった。⇒「ダメだよ」「噛みません」と淡々と試してみる。
- 自分の欲求(食べたい物、遊びたい物)が満たされない時、他の物に興味を移すのが困難。予定の変更困難。自分のイメージした予定もあり、母の予定と合わない時が大変。⇒可能な範囲であらかじめ伝えておく。時間の概念は今の時期は難しい事を伝える。
- 前に絵本が嫌いだと相談したが、寝る間に自分から持ってくるようになった。成長を感じる。本人ではなく上のお兄ちゃんが嫉妬するようになった。⇒甘えは大事。
- 全体まとめ
  - ◆甘える事の大切さ。自立に向けても大事。
  - ◆動くときと落ち着きやすい傾向あり。特に幼児期は身体を思いきり動かそう!
  - ◆お父さんの参加がとても良かった。
  - ◆ご飯の時間があるので、お母さん達の話が盛り上がり雰囲気 good!!
  - ◆大型ブロックやボブルスで転がり遊びやジャンプ、よじ登りなど、身体を動かして遊び込めてよかった。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 作業療法士の先生の話を知ってみたいから。子どもの遊びの幅を持たせたいから。
- 家にいるとなかなか一緒に遊ぶ時間が作れないので。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 否定的な言葉を使わずに毅然とした態度で伝える。落ち着かない子は思いっきり動かす方が後々落ち着くようになる。
- 幼児期はみんな時間の概念をまだ理解するのが難しいことを知って新たな発見だった。子どもの特性を生かした学びをしていくことが大切なのだと思う。
- できないことに目を向けず、得意なことを伸ばす!!

#### できること、やってみたいこと

- 子どものことで困っていることの対応を教えてくださいだったので良かった。
- ひっきーさん、ベテラン保育士さんとたくさんおしゃべりできたので満足。
- 手遊びの「バス」を子ども達にやろうと思った。
- おままごと。私にも初めての方にも「はい、どうぞ」ができていた。
- 手洗いに興味を持ち出しているようなので、わが子に合った手洗いをぜひ取り組んでみたいと思う。

#### 参加による良い変化やご意見

- 子どもとの向き合い方がわかった。
- 自分自身が安心しリラックスできたので良かった。子どもへの接し方も変われる気がする。
- 生き生きと楽しく遊ぶ姿が見られて嬉しかった。先生とおままごとをしていて可愛かった。
- ジャングルジムでタッチする事をお勧めしていただいて以来、かなりジャングルジムでタッチ、つたい歩きした。歩けるようになった今でもジャングルジムの前では指をさしている。(僕のホームベースみたいな感じ)

## 子リスのひろば @いかしの舎 6

平成31年3月13日(水) 0時~12時

参加人数 5組 (乳幼児7人 大人5人)

## アドバイザーより (抜粋)

- AくんがBくんを噛んでしまう。BくんもAくん以外(親)を噛むようになってしまった。母が呼んでも振り向かない。  
⇒例えば「着替えようね」などの声掛けの時に、声だけよりも相対して目を見て声を掛けるように。日常の中で無理なくできる範囲で。専門的な意見も聞きながら、親子で遊べたり、母の相談ができる場があると良い。
- 人見知り強く、母親から離れられなかったり、誰かがおもちゃを使っていると行かない。おもちゃを取られても取られっぱなし。お友達と遊んだり、言い返せるようになってほしい。  
⇒今日も「前に一緒に遊んだ引野さんの所に行くよ」と伝えると「行く」と言い、泣かずに来られたとのこと。記憶力 good!! 行く、行かないを自分で選んでいる様子。
- おちんちんをよく触っている。  
⇒Body Imageを確立していく過程の中ではよくある事。気になるようなら遊びに誘ったりして気持ちをそらす。
- どの療育に行くかの相談。老舗の療育センターには母は気持ちが向きにくいとの事だったので、母の気持ちが向きやすく続けられる所をと伝えた。地域の老舗センターなので、行くと良い事もあるのではとの葛藤もあり。
- 全体まとめ  
ラストの手遊びへの注目度。よく動く子ども達も興味を持ってその場で見る事ができていた。それぞれのペースで遊んでいたが、ゆっくりペースの子には少し介入すると遊びが広がりやすい。スタートはざくっと始めたが終わりは「終わり」の雰囲気を作って子ども達も帰る気持ちの準備ができた。年中の兄達がジャンプ遊びをしていて、そこに他年齢の子達が参加する遊びに発展する。MAX6人くらいで順番を待って遊んでいた。

## アンケートより (抜粋)

## ここに残ったキーワード・収穫

- 洋服の中におもちゃを隠してみる。
- 実際に身体を動かしてみることで脳が育つ。
- 今は身体全体のイメージを作っている時期。考えて選んでいる。身体を圧迫する遊びをしたら良い。ピーナッツバランスボールが面白そうだったので家にもほしいと思った。
- 娘に合った遊びを提案してもらったので満足。
- 子ども達との関わり方のヒントを得ることができた。
- お友達との関わり方とか、いろいろと悩んでいることがあったが、相談してスッキリした。子どもがとても楽しそうに遊んでいた。(いつもは人見知りで遊べない事もある)

## できること、やってみたいこと

- 楽しくできることが増えると嬉しい。
- マット、ブロック(ボブルス)、ビリボ。

## 参加による良い変化やご意見

- いろいろいただいたアドバイスをもとに日々成功している!ありがとうございます。
- 子どもが生き生きと遊べた。いろいろな人、先生に遊んでもらえた。
- 身体をたくさん動かして、落ち着く時間が少しできるようになった。否定的な言葉を使わずに伝える方法で、少し話を聞いてくれるようになった。
- 前に相談した時に、抱っこでしか寝なかったり、机の上に上がるのを叱った方が良いのか迷っていて悩んでいたのだが、引野さんのアドバイスで迷いなく抱っこしてあげたり、ソファやテレビ台の上に上がってもOK、食事の机は×と決めたら、叱る事もなくなり、気持ちが楽になった。子どもも気持ちが落ち着いたように思う。



## 「ぱれっとひろば」

子育てに疲れてしまう前に、お子さんと一緒に息抜きに来てね。

自由にお話したり、遊んだり…。

12時～13時は、いっしょにランチもOK！

### 【狙いと対象者について】

今回の助成の条件として、午前中＝プログラム、午後＝ノンプログラムの居場所をという指定があり、10時から12時までをそれぞれのプログラムとし、12時からランチタイムをはさんで15時までを、0～3歳児とその保護者を対象とした「ぱれっとひろば」としたものの。7月から翌年3月まで、月2回～4回、合計30回を開催した。

午前中と同じ専門職がいることから、定員（8～12名）のある午前中に参加できなかった親子がこちらの時間帯に流れる傾向があった。また、ランチをスタッフと一緒に取れることも魅力に感じていたようだ。



2018年12月 ぱれっとひろば終了前の絵本の読み聞かせ

時 間	12時～15時（開催日はそれぞれのプログラムの開催日）
対 象	0-3歳児と保護者・プレママも可
会 場	[7月、8月] ぐらしのたね 岡山市北区辰巳14-1 [9月～3月] いかしの舎 都窪郡早島町早島1466
参加方法	申込不要、いつ来ても、いつ帰ってもOKです。

# 支援者のための ブラッシュアップ講座

## 研修① えほんの読みかた

**実習** 出張つづきの絵本屋  
～ママぱれっと クリスマススペシャル～

都築照代 (つづきの絵本屋 店主)  
<http://tsuzukinoehonya.com/>  
研修 (専門職向け) 9月12日 (水) つづきの絵本屋  
実習 (保護者向け) 12月13日 (木) いかしの舎

## 研修② アドラー心理学に基づく“楽育”の子育て支援

山口育子 (チツキンダーガーデン園長、日本アドラー保育連盟会長ほか)  
<https://www.rakuikumama.jp/blank-31>  
11月7日 (水) 倉敷男女共同参画推進センター

## 研修③ こどもの心を動かす体のレッスン

高尾明子 (シェルハブメソッド・松江 主宰)  
<http://shelhav-method-matsue.jp/>  
11月14日 (水) 倉敷男女共同参画推進センター  
保育士など専門職向け 育休中の支援者が子どもと一緒に参加できる

## 研修④ 生後2カ月からの発達支援 長野原町の乳児発達支援事業が始まった理由

**視察・実習** 身体調和支援

町村純子 (株ゆう地域支援事業團 代表取締役、保健師)  
<https://www.facebook.com/yu.community.support/>  
研修 (専門職向け) 12月9日 (日) 岡山県立図書館  
実習 (保護者向け) 12月10日 (月) ちゃやっこひろば

## 研修⑤ こころとからだを育む語りかけ、あやし方 遠野のわらべうたに学ぶ

木津陽子 (臨床検査技師、保育士)  
<https://goo.gl/px5zTZ>  
2019年2月13日 (水) いかしの舎

## 研修⑥ ファシリテーショングラフィック技能習得セミナー

玉有朋子 (徳島大学非常勤講師、ファシリテーショングラフィカー)  
<https://www.facebook.com/tomoko.tamaar>  
2019年2月16日 (土) 倉敷男女共同参画推進センター

## 研修⑦ ・報告・ネットワーク会議

学童期のこどもの様子から0歳児の発達支援を考える／ママぱれっとの視点から  
／障がいの有無にとられない乳幼児期からできる支援とは

山口清明 (NPO法人はびりす 代表理事、作業療法士)  
<https://habilitering.com/>

村口裕美 (ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 所長、助産師・看護師・保健師)  
<http://granma-hiromi.jugem.jp/>

引野里絵 (Rie Child Support、作業療法士)  
<http://riecons.net/>  
2019年3月1日 (土) 倉敷市男女共同参画推進センター

研修①

平成 30 年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成 モデル事業

## 支援者のためのブラッシュアップ講座 えほんの読みかた

日ごろ、読み聞かせをしているけれど、  
もっと絵本のこと、知りたい！  
子どもたちにも楽しんでもらいたい！  
そんなあなたのための講座です。  
つづきの絵本屋店主の都築さんなら  
きっと納得のお話が聞けるはず…。

日 時 2018年9月12日(水) 10:00～11:30

会 場 つづきの絵本屋（倉敷市川入 694-7）  
当日は定休日のため、参加は事前申し込みの  
方だけとなります。参加者のための駐車場は  
ありませんので、近隣の駐車場にとめて  
お越しく下さい。

対 象 保育士、子育て支援に関わる人。  
今回は就学前のお子さんへの読み聞かせを  
想定しています。定員 20 名。

参加費 1000 円（1 ドリンク付き）

申 込 先着順、定員まで。  
①名前と所属、②お住いの市町村名、  
③連絡のつく電話番号を明記して、  
メールかファクスでお申し込みください。  
Email ekinotikaku@gmail.com  
FAX 050-3488-4116

主 催 一般社団法人チカク  
担当 | 赤木 (080-2900-8110)



都築 照代 さん

つづきの絵本屋店主。愛知県犬山市出身。司書、司書教諭として図書館（公共・大学・小学校）に勤務。2016年4月、倉敷市川入に絵本と紅茶とギャラリー「つづきの絵本屋」をオープン。絵本専門士、JPIC(出版文化産業振興財団)読書アドバイザー、絵本講師、絵本セラピストなどの資格を活かし、読み聞かせ講習会や絵本講座の講師も務める。



## えほんの読みかた

## つづきの絵本屋

日 時 平成 30 年 9 月 12 日 (水) 10 時～ 11 時 30 分  
 講 師 都築 照代さん  
 対 象 保育士、子育て支援に関わる人  
 参加人数 大人 16 人

## 内 容

- 日ごろ、読み聞かせをしているけれど、もっと絵本のこと、知りたい！子どもたちにも楽しんでもらいたい！そんなあなたのための講座です。つづきの絵本店主の都築さんならきっと納得のお話が聞けるはず…。
- 絵本の紹介。絵本の読み方、見せ方のレクチャーなど。
- 12 月 12 日 (水) いかしの舎でママぱれっと参加の保護者向けに絵本の紹介、読み聞かせ。

## アンケートより (抜粋) 9 月 12 日 (水) 研修

## 収 穫

- 自分の知らない分野の本。参加型の絵本がとても参考になった。
- 絵本の世界に惹き込まれるような語りと説明がとても楽しい時間だった。読んでみたいと思う絵本がたくさんあったので、今後の子育て、仕事に役立てたいと思う。
- 自分が子ども達に絵本を読んでいる事、今まで読んできた事の確認や発見、気づきがあった。
- 今まで絵本を選ぶ基準がわからなかったが、わかりやすく教えていただき良かった。

## 自分でも試してみようと思ったこと

- 導入に使えると言われていた絵本をぜひ使ってみようと思う。
- 本の読み方、テンポ、声のトーン。読み聞かせ、取り入れていきたい。2 人読み、挑戦してみたい。
- リズムを楽しむような本を探して読んでみたい。赤ちゃんが内容がわからなくても、聞く事が楽しいようなもの。
- 最初のあいさつで大きい声を出すと読みやすい声が出しやすいようなので努力したい。絵本に合わせた自己紹介。
- ページのめくり方。声のトーン。絵本と体験が合った時に共感が生まれる。
- 滑舌の悪い子が多いので、声を出して読む本を読もうと思った。体験が絵本と結びつく時、子どもの世界は広がる。

## 心に残ったこと

- 参加型。声を出すと大人も楽しい。体験と絵本が合った時が子どもにとって大事。
- 作家さんの気持ちを織り込んで、その思いや願いを感じながら聞く事ができた。絵の紹介もとても興味深く、文字に目が行きがちだが、絵に集中して読むことができた。

## アンケートより (抜粋) 12 月 12 日 (水) 実習

## 参加目的

- 絵本の良いものを知りたかったのと娘の発達で気になる事があり参加した。

## 収 穫

- 絵本に何を選んであげたら良いのかわからなかったので参考になった。
- 欲しい本、買ってあげたい本があった。楽しそうな絵本があり、今からでも読み聞かせのできるものがあった。

## できること、やってみたいこと

- お父さんと私でまた読んであげたい。
- 絵本。子どもの好きな事を探して遊ぶ。

研修②

平成 30 年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成 モデル事業

支援者のためのブラッシュアップ講座  
アドラー心理学に基づく  
“楽育”の子育て支援

知識があっても、なかなか学んだようにはいかないのが子育てです。それぞれの支援での困りごとを踏まえ、科学的でハートフルなアドラーの考え方をベースにした、目からウロコの“楽育”の子育てを学びます。

日時 2018年11月7日(水) 10:30~12:30

会場 倉敷市男女共同参画センター  
倉敷市阿知1丁目7-1 天満屋倉敷店6階 第1会議室  
参加者のための駐車場はありませんので、  
近隣の駐車場にとめてお越しください。

対象 子育て支援に関わる専門職、支援員など  
定員 20名。お子さんを連れての参加はできません。

参加費 1500円 ※当日お支払いください。

申込 先着順、定員まで。メールの件名を  
「2018.11.7 楽育の子育て支援」として  
以下の内容をメールでお知らせください。  
受信後、受講の可否をお知らせします。

- ①お名前、よみがな
- ②職種(保育士等)、あれば所属先
- ③お住まいの市町村名
- ④携帯電話番号 ⑤連絡事項

お問い合わせ・申込先 WAM 事業事務局

Mail [ekinotikaku@gmail.com](mailto:ekinotikaku@gmail.com)  
上のアドレスから受信できるように設定ください。

Tel 080-2900-8110

後援 岡山県教育委員会、倉敷市、岡山市、早島町  
主催 一般社団法人チカク 担当 | 赤木 (080-2900-8110)



講師 | 山口 育子 さん

一般社団法人楽育チッチ 代表理事、アドラー心理学会認定 家族コンサルタント、アドラー保育連盟会長、楽育マイスター、楽育学創設者。科学的でハートフルなアドラー心理学をベースに、気持ちを楽に楽しく、自分育て、子育て、人育てを出来る工夫を、「楽育学」として考案。一人でも楽しい子育てを知って欲しいと、楽育学「プレママ編」「乳幼児編」「子ども編」「自分編」「保育編」として、全国にて講演会を行っている。著書「アドラー心理学に学ぶ いっこさんのたのしい子育て」「いっこさんのわくわく子育て」「楽育ママの子育て」他多数。



## アドラー心理学に基づく“楽育”の子育て支援

倉敷市男女共同参画推進センター

日 時 平成 30 年 11 月 7 日 (水) 10 時 30 分～ 12 時 30 分  
 講 師 山口 育子さん  
 対 象 子育て支援に関わる専門職、支援員など  
 参加人数 大人 15 人

## 内 容

- 知識があっても、なかなか学んだようにはいかないのが子育てです。それぞれの支援での困りごとを踏まえ、科学的でハートフルなアドラーの考え方をベースにした、目からうろこの“楽育”の子育てを学びます。
- アドラー心理学とは。どんな子どもに育ててほしいか。楽育ママ。楽育のポイント。勇気づけの子育て。ありがとう手遊びなど。

## アンケートより (抜粋)

## 参加目的

- 保護者支援。支援者としてのスキルアップ。
- もう一度アドラーを学び直したかった。
- 自身の子育て、双子育児支援のために。
- アドラーを知りたかった。
- 子どもとの接し方について学びたかった。

## こころに残ったキーワード・収穫

- 子どものためにやっても、子どもがどう思うかはまた別！そこを大事にしようと思った。
- お母さんのオーラは子どもに伝わる。お母さんが幸せじゃないと思って子どもに接していると、子どもも幸せを感じなくなるかもしれない。子どもとともにお母さんも幸せを感じられるようにしたい。
- 子どもが「仲間」と感じるかどうか。
- 過去はいらぬ。あなたが変われば変わる。
- 能力、仲間。→自立、協調。相手は変わらない。自分がモデルになる。
- 今、あなたが変われば、子どもが変わる。保護者へ「あなたが味方だよ」と伝えてほしい。
- 過去はいらぬ。あなたが変われば子どもも変わる。プラスの方に一歩踏み出せる勇気。開いた質問をしよう。
- プラスをたくさん入れる事を大切に。今のママさん達には丁寧に柔らかく伝える事。

## こんな風だったら良いと思うこと

- もう少しお話を聞いていたかった。

## できること、やってみたいこと

- しっかり子どもの話を聞いたり、こちらの言ってる事を伝える事。今、薬を飲むのを嫌がっている息子に、何とか飲めるように勇気づけたいと思う。
- 娘が祖父母に冷たい態度をとるのは、私をモデルにしている事に気づかされた。帰ってまず私の関わりを変えようと思う。
- 子どもだけでなく家族にも感謝の気持ちを言葉にして伝えていく。
- 入眠の儀式。寝る前に幸せな気持ちで。
- お母さんと子どもと仲間になる。お母さん方の「何でも屋さんの窓口」になりたい。
- 子どもへの問いかけや接し方が、ちゃんと自分が意図した意味で相手に伝わっているのか考え直したいと思う。
- 勇気づけの支援。仲間と思ってもらえるよう関わる。
- 子どもには寝る前に安心して寝られるような言葉がけをして次に日へつなげる。
- 支援者としても親としても、何でも話せる相手でありたいと思った。
- 自分の気持ちを子どもに伝える。嬉しい、悲しいなどを織り込んで話をする。
- たくさんプラスの事をプレゼントする。
- プラスの言葉をたくさん使って伝えたい。

研修③

平成 30 年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成 モデル事業

## 支援者のためのブラッシュアップ講座 こどもの心を動かす体のレッスン

動きがぎこちない、よく転ぶ。手先がうまく使えない。イスに座っていることが難しい…。  
このような子どもは、ほとんどの場合、運動発達  
のステップを十分に経験しないままに大きくなっ  
ています。このような時も発達の過程をやり直す  
ことによって様々な状態が変わっていきます。  
それは何歳でも遅すぎることはありません。  
こどもが持って生まれたものを認めて、もっと伸  
ばすために。こども自身が自分を大切にやりよい  
日々を過ごせるように。シェルハブ・メソッドの  
考え方と簡単な手技を学びます。

- 日 時** 2018 年 11 月 14(水)  
①10:30~12:30 ②14:00~16:00  
①と②は同じカリキュラムです。  
お申し込み時にご希望の時間帯をお知らせください。
- 会 場** 倉敷市男女共同参画センター  
倉敷市阿知 1 丁目 7-1 天満屋倉敷店 6 階 第 2 会議室  
参加者のための駐車場はありませんので、  
近隣の駐車場にとめてお越しください。
- 対 象** 子育て支援に関わる専門職、支援員など  
定員 15 名。お子さんと一緒に参加できます。  
育休中の方など歓迎。ご希望の方はお申し出ください。
- 参加費** 1500 円 (① or ②)
- 持ち物** 床に敷くもの、飲み物等
- 申 込** 先着順、定員まで。  
①名前とヨミガナ、②職種あるいは所属、  
③お住いの市町村名、④連絡のつく電話番号、  
④講座日とご希望の時間帯、⑤連絡事項  
①~⑤を明記して、メールでお申し込みください。  
Email : ekinotikaku@gmail.com



高尾 明子 さん  
松江生まれ。フェルデンクライ  
ス・メソッドの指導者講習（オ  
ーストラリア）修了後、2000 年  
に開業。2013 年にはシェルハブ  
・メソッドの指導者講習（オラ  
ンダ）を修了し日本人初のシェル  
ハブ・メソッド指導者となる。以  
後、松江にて 0 歳～80 代の方々  
との個人レッスンや保育園、幼  
稚園などでワークショップを行  
っている。また、東京、大阪など  
でもワークショップを開催。非  
定型発達の子どもたちとの活動  
にも力を入れている。国際基督  
教大学、お茶の水女子大学学院  
卒。日本フェルデンクライス協  
会、日本赤ちゃん学会、日本感  
覚統合学会、発達性ディスレク  
シア研究会会員。



- 後 援** 岡山県教育委員会、倉敷市、岡山市、早島町  
**主 催** 一般社団法人チカク 担当 | 赤木 (080-2900-8110)

## こどもの心を動かす体のレッスン

倉敷市男女共同参画推進センター

日 時 平成 30 年 11 月 14 日 (水) ①10 時 30 分～12 時 30 分 ②14 時～16 時  
 講 師 高尾 明子さん  
 対 象 子育て支援に関わる専門職、支援員など  
 参加人数 大人 37 人 乳幼児 2 人 ( 託児 3 人 )

## 内 容

- 動きがぎこちない、よく転ぶ。手先がうまく使えない。イスに座っていることが難しい…。このような子どもは、ほとんどの場合、運動発達ステップを十分に経験しないままに大きくなっています。このような時も発達の過程をやり直す事によって様々な状態が変わっていきます。それは何歳でも遅すぎることはありません。こどもが持って生まれたものを認めて、もっと伸ばすために。こども自身が自分を大切にやりよい日々を過ごせるように。シェルハブ・メソッドの考え方や簡単な手技を学びます。
- 子どもが持つ学ぶ力。フェルデンクライス。支援者としてしたいこと。子どもの進歩を待つ。体験レッスン。座り方の体験など。

## アンケートより (抜粋)

## 参加目的

- 小児の患者さんを見させていただく事が多かったため。以前にも高尾先生の話聞かせていただき興味があったため。
- 発達障害の療育や音楽レッスンなどでの子どもとの関わり方や支援について学びたかった。
- 子どもの支援に活かしたいと思った。
- 子ども達にダンスを教える仕事をしており、発達障害のお子さんに触れる機会が増えてきており、現在、ダンス療育指導士のライセンスを取るために勉強中。自身の息子も発達障害がある。
- 支援者自身が体験し、感覚を掴まないと本当の支援ができないと思ったから。
- 子どもの身体を支援する事で心も変化するのか知りたかったから。
- 発達の視点は総合的に、立場の違いを知るために。
- 大人の発達障害の方を対象に支援をしており、興味を持った。
- 子育て支援に携わっているので、何か支援できる事があればと思った。
- 子どもの発達を促す関わり方について学びたかった。
- 高尾先生の発信されている内容に感銘を受けたため。
- シェルハブ・メソッドをもう少しどういう考えや方法で行うのか知りたかったため。
- 身体を使ったワークで子どもから大人まで関わるうちに、自分なりのやり方で対応している部分を埋めたり勉強したい。
- 発達を助ける身体感覚を脳に伝える方法を知りたかった。
- 3 ヶ月の子どもがいるため役に立てたいと思った。知的障害の学校に勤務していて、身体がアンバランスな生徒の役に立てたいから。
- 職場の子育て支援センターでは0歳児から5歳児までの子ども達が多く来所されるが、子どもさんの運動機能では多く悩みや疑問があり、お答えする上で体感・体験してみたいと思った。
- 発達障害の子どもの支援のため。
- 私自身は自力整体でナビゲーター(インストラクター)をやっていて、身体の動きを学んでいるので興味があった。

## こころに残ったキーワード・収穫

- 自ら学ぶ力。
- 子どもの力が発揮できる環境。(2件)
- 座位の大切さ。身体を動かして、子どもの感じ方が捉えられた。
- 子どもは5mmで変わる。(2件)
- 「親ができると思ったらできる」と言われて、我が子の育児と重なった。首が座らない、動けないと言われてきたが、わからず、動かすでサポートして「伝わる、動く、笑う子ども」に育っているので、「そうなんだ!」と元気になった。
- 座位の大切さ。身体を動かして、子どもの感じ方が捉えられた。

## 研修③

- 「脳と身体がつながる」触れる事で身体を認知できる事や環境を整える事で、できるようになる事もあるとわかり良かった。
- 脳は学び続ける事ができる。親が信じていれば、子は必ずできるようになる。
- 支援者の見る目を養う。
- 周りが子どもをどう思っているかが伝わる。「あなたはできる存在！やっpegらん！」
- 子どもは自ら学ぶ力を持っている。
- ぽんぽんむぎゅ。の言葉の響き。good！！
- 全身の地図を繰り返し何度も脳に覚え込ませる。座れない子は座り方を知らないだけ。
- 子どもがやろうとしている事をよく見て待つてやる。
- 身体をぽんぽんむぎゅとして脳に刺激を与える事で、身体もわかってくるし、実際変化した事がわかった。座り方も身体に教えてあげる事が大切だと学んだ。
- 犯人探しをするよりも前に進む。子どもは力を持っている。
- 子どもは常に探求する存在。すごい能力。
- こうやって落ち着けるんだよという事（安心）を（体重をかけて）教えてあげる。
- 座る時に足と腰、座骨を意識させると良い。
- 身体を覚えさせる。（ぽんぽんむぎゅ・寝返り）支点を覚えさせる。（押さえる）
- 日々の学びが子どもの心身を成長させている事。心身に呼びかけてやる事ができると、また動き始める事。特に椅子の座り方。身体のボディイメージ。（ぽんぽんむぎゅ）
- いくつになってもやり直しができる。

### こんな風だったら良いと思うこと

- 自分で体験できてわかりやすかったのも、もっとお話を聞いてみたかった。
- もう少し時間があれば良かった。（5件）
- ぽんぽんむぎゅの動きを動画で残したかったなあと思った。
- 現場の実践例をもう少し取り入れていたら良かったかもと思った。

### できること、やってみたいこと

- 自分の子に、職場でお預かりしている子へ。自分に合ったあり方、重心、落ち着かせ方をやってみたい。
- 「全ての子ができる！！」でサポートしていきたい。
- 訓練中の小児にも対応できるよう深めていきたい。（ぽんぽんむぎゅ）
- 落ち着かない様子を見たら触れる事、環境を整える事を考えながら、子どもに無理のないように関わりたいと思う。
- 身体の感覚を伝えたい。自分の感覚も磨き整えたい。
- 2人の子にタッチしてみようと思う。特に自閉症の子どもに続けてやってみたい。椅子を調整する。
- 椅子の調整。姿勢が悪かったり足を上げたりする原因はそこにあったのかと感動した。早速実践してみたいと思う。
- 職場で今日教えてもらった事を伝えたり、自分の子ども達にやってみたい。
- ぽんぽんむぎゅはしてみたい。座った時に身体に圧をかける。
- 赤ちゃんにぽんぽんむぎゅをしたいし、ママにもしてあげたい。
- まずは自分の子どもの身体に触れて実践してみたい。
- 子ども達にぽんぽんむぎゅしていきたい。子どもさんをしっかり観察して、アプローチしていけたらと思う。
- ベビーマッサージなどで役立てたい。悩んでいる母に対しては一緒に伝えていこうと思う。
- 寝返り、ぽんぽんむぎゅで身体の使い方を伝える事。
- 脊髄損傷のクライアント（19歳）に取り入れる。安定を保つ。
- 私自身の仕事に活かせる事がたくさんあった。
- ぽんぽんむぎゅを毎日やってみようと思う。
- 遊びを通しての活動が多いので、困っている先生方や保護者の方に「これはこうだからやってあげると良い」と言える人になりたい。

# こどもの心を動かす体のレッスン

倉敷市男女共同参画推進センター

## 参加による良い変化やご意見

- 今日はありがとうございました。体験しながらのお話、わかりやすかった。
- とても刺激になった。納得できる場所、共感できる事ばかりだった。時間があれば学びたい。
- 自分自身が体験できて自分で感じる事ができたので良かった。足裏の大切さも改めて勉強できて良かった。
- ぽんぽんむぎゅをしていたら冷たかった手も温かくなりびっくりした。血流も良くなっていると思う。
- 高尾さんにお会いできた事を喜んでます。今後ともよろしく願いいたします。
- 託児を用意していただいて助かった。ありがとうございました。
- 子連れで参加しやすいよう調整してくださってありがとうございました。
- とても役に立った。娘にぽんぽんむぎゅしたい。学校でも活かしたい。
- 私も松江の人間で、友達が先生のレッスンを受けていてとても興味があった。今回参加できてとても嬉しい。発達のこと、細かいところまで知れた事を今後活かしていきたい。



こどもの心を動かす  
体のレッスン  
2018  
高尾明子 先生  
11/14(木)  
PM.

SM

15. 座学(ジェンダ視点の考え方)

15. パワーワーク  
"動かすための体づくり"

15. 発達の流れと  
体験ワーク

15. Q&A, アラート

すわるために  
どんな機能が必要か

月齢の中に1体の地図を描く

固有受容器を伝って月齢の中に地図を作る  
(Tapping) ぶさぶさ(スクラッチ)

つかむせ 背中をなでる(下書き)  
- 1つ1つ(体の厚み)  
- なでる  
足なでる(下書き) - 足の裏、厚み  
- 1つ1つ - 厚み  
- ぎゅ(圧力を加える)  
- ひざのひざを曲げながらなでる - 足が  
うで(下書き) - 手から1cm  
- 1つ1つ、ぶさぶさ - なでる  
背骨、なでる  
肩の骨、なでる、肘まで、なでる  
こむぎゅの体づくり

Body Map

子どもは自ら学ぶ力をもっている

何も考えなくても、手を動かすだけで  
スライディングしている。

小さな達成感 - 自己肯定感 - 自止

よくみる = 子どもは何を  
しようとしているのか、  
まつ という視点、  
Try & Error

お、できた!!

尊重する  
いろいろ試していること  
自分で自分のやり方  
を獲得する

学びを深める

研修④

平成 30 年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成 モデル事業

## 支援者のためのブラッシュアップ講座 生後 2 カ月からの発達支援 長野原町の乳児発達支援事業が始まった理由

座ってられない、落ち着いて聴いていない、コミュニケーションが取りにくいなど、小学生になるころ顕在化する「こどもの困り感」。その遠因は乳児期の運動や脳の発達に関係すると言われていました。

町内の生後 2 カ月のこどもたち全員が、無料で、月 4 回延べ 32 回のサポートを受ける群馬県吾妻郡長野原町の乳児支援事業と、この事業のきっかけになったこどもたちが置かれている現状についてお話を聞きます。

日時 2018 年 12 月 9 日(日) 10:30~15:30

- ① 10:30~12:00 身体調和で体を整える
- ② 13:00~15:30 生後 2 カ月からの発達支援

会場 岡山県立図書館 多目的ホール

岡山市北区丸の内 2-6-30  
有料駐車場がありますがスペースが限られています。  
できるだけ公共交通機関をご利用ください

参加費 1500 円 ※当日お支払いください。

対象 子育て支援に関わる専門職、支援員、行政職員など定 40 員名程度。午前中は実際に体を整えるワークをします。午後はこどもを連れて参加（以下参照）できません。  
※ 午前中のみ 0 歳児と保護者のモニター参加を受け付けます。  
希望者は電話 080-2900-8110 までお問い合わせください。

申込 先着順、定員まで。以下の内容を明記して右下の QR コードよりお申込みください。  
受信後、受講いただけない場合のみご連絡いたします。  
①お名前、よみがな ②職種(保育士等)、あれば所属先  
③お住まい ④携帯電話番号 ⑤連絡事項、受講の動機など

お問い合わせ WAM 事業事務局

Mail [ekinotikaku@gmail.com](mailto:ekinotikaku@gmail.com)  
上のアドレスから受信できるように設定ください。  
Tel 080-2900-8110

後援 岡山県教育委員会、倉敷市、岡山市、早島町

主催 一般社団法人チカク 担当 | 赤木 (080-2900-8110)



講師 | 町村 純子 さん

株式会社ゆう地域支援事業団 代表取締役、有限会社まちむら 役員。資格は保健師・看護師・養護教諭 2 級など。1983 年群馬県大間々町役場勤務。2003 年地域保健研究会所属。同年ゆう地域支援事業団設立を経て、2006 年有限会社まちむら設立。指定介護訪問ステーション・指定居宅介護支援事業所・住居型有料老人ホーム「たなぼ」・障害児童通所支援 児童発達支援「一期」を開設。  
2018 年には群馬県長野原町に相談支援事業所「ゆう・ながのはら」、障害児童通所支援 児童発達支援「一会」を開設し、同年 8 月には群馬県長野原町委託事業 乳児発達支援「子育て広場きらきら・ベビー（長野原町在住の生後 2 か月~12 か月児全員に月 4 回）を開設した。著書「ベビーマッサージ 身体調和体操にトライ」「身体調和支援 うたにあわせてマッサージ」など。



## 生後2ヵ月からの発達支援

岡山県立図書館

日 時 平成30年12月9日(日) 10時30分～15時30分  
 講 師 町村 純子さん  
 対 象 子育て支援に関わる専門職、支援員など  
 参加人数 大人52人 乳幼児7人

## 内 容

- 座ってられない、落ち着いて聴いていない、コミュニケーションが取りにくいなど、小学生になるころ顕在化する「こどもの困り感」。その遠因は乳児期の運動や脳の発達に関係すると言われていています。町内の生後2ヵ月のこどもたち全員が、無料で、月4回延べ32回のサポートを受ける群馬県吾妻郡長野原町の乳児支援事業と、この事業のきっかけになったこどもたちが置かれている現状についてお話を聞きます。
- 午前 ⇒ 育ちにくさ。身体の非対称性。ハイハイをゆっくり。口の発達。多職種の協力の必要性。お母さんにとって都合の良いグッズ。できない子ども達。子育ての相互作用。タオルマッサージ。歌に合わせた体操、ストレッチマッサージなど。
- 午後 ⇒ 子どもの事例。吸啜反射がない新生児、緊張が高い子、気持ちの切り替えしができない子など。1歳～3歳の居場所作り。長野原町の乳児支援事業の取り組み。グループワークなど。

## アンケートより(抜粋)

## 収穫

- できない=成長が遅いと思っていたが、違うという事に気がついた。
- マッサージの仕方がわかって良かった。わかりやすく助かった。
- 施術した側の腕が驚くほど軽くなった。
- 写真などもあり、とてもわかりやすかった。グループワークもあり、様々な人との交流を持つ事もできた。
- 普段歯科の面から子ども達と関わらせていただいていたが口腔機能発達不全の子ども達をよく見させてもらっているが、年々機能が発達していない子が増えているのはなぜかなと疑問に思っていたが、もっと年齢が低い時からの支援が大切でその辺りの年齢から指導が必要になっていく事がよくわかった。
- 子ども達の変化に気づき「なぜ」と考えながら、答えやヒントがあったので、明日から保育に活かしていく。
- 普段接する事ができない事例を拝見できチェックしなければいけない点、注意点、大変参考になった。歯科衛生士の関わりが大切である事。
- マッサージの実践。短時間でも効果があり乳児訪問、育児相談で実践できると思った。
- 身体調和の基礎コースを受講させていただいて、もっともっと勉強したいと思って今日も参加した。今日は実際の乳児へのマッサージも見ることができたので良かった。
- 長野原町での取り組みも詳しく教えていただけてイメージがさらに湧いた。すぐ対応していくために副町長が会に入っているのが素晴らしい。また一期での内容は支援計画の明確で評価再計画が素晴らしい。評価と計画見直しについてもっと考え取り組んでいきたい。
- 初めて町村さんのお話を聞いた。「カウンセリングではどうにもならないぞ～」という思いでいた私にぴったりのお話で、まだまだ必要な事を学びできていない事、子どもの状況がどんどん変化している事を実感し、多様な知識や経験を持った方々とつながる事の大切さを痛感できた。自分が今しようとしている事の軸を強くできた会だった。
- 早く発見して機能を正してあげる(緊張をとってあげる)と良いという事がよくわかった。左右前後のバランス、体幹がとても大切という事がよくわかった。
- 0歳からの育ちが将来の生活に全てつながっている事がよくわかった。事例がたくさん紹介されていたが、スピードが早かったので、もう少しゆっくり内容を見たかった。
- 子どもを連れて参加できる研修がなかなかないのでありがたかった。

## できること、やってみたいこと

- タオルを使ったマッサージ。
- どんぐりコロコロ(全身)、でんでんむし(首)のマッサージ。
- 子どもをもっと見る事から始めたい。
- ゆう・ながのはら・きらきらベビーの中で、共有の発達記録についての話があったが、関係スタッフ、そして保護者との共有についても形を考えていけたら良いなお話を聞く中で思った。

## 研修④

- 身体調和マッサージ。将来的には地域振興につながる何かをこれからできると良いなと思った。
- 口腔内を観察し早い段階で異常に気づいてあげる事が必要なのだと思った。(緊張が強い子には口腔内をマッサージしてあげたりとか)
- 早期から支援を継続的に行っていきたい。
- マッサージ。子育て支援との連携。横のつながりを作っていきたい。
- 首、背中中のマッサージ。子どもの姿を観察し、今その子がどのようなサインを出しているのかを見取る力をつけていく。
- 自分自身がマッサージをした事で大きな変化があったので、保育の中で着替えや生活の中で取り入れていきたいと思った。
- 地域の中で子育ての相談ができる場を作っていきたい。
- 行政や多職種と関わって活動していく事。焦らず少しずつ…。
- 訪問・健診・育児相談での身体調和支援⇒もう少し研修が必要。多職種の人とのつながりを持ち、乳幼児の発達支援に関してできる事を話す事。地域でできる事を話す場を持つ事。
- 幼児の集団健診や集団指導での5～10分での個別指導で、指導してどう変わったか確認できていない。縛りがある中で、多職種、同業とのつながりを持ちたい。
- 歯科医師の面から口腔内だけしか見ていないが、全体的に見られるように、筋マッサージを取り入れていこうと思った。そうする事でかみ合わせにもつながると思うので、今後の治療に取り入れていく。
- 自分の子育ての事を思い返し、1人で「おかしい」とか「もしかして自閉症？」と悩んだ事を思い出した。もっとよく観察していろいろな人に声をかけてあげられるようにしたいと思った。
- しっかり子どもに触れたいと思った。軸を取れる身体になれるように。
- マッサージや体操を大人の身体でも試してみたい。0歳の子にもやってみたい。地元の保健師さんや連携とれそうな専門職さんにお話の内容を伝えてみたい。
- まずは孫(3ヵ月)にマッサージ。拠点を立ち上げたいと思っているので、様々つながりながら…と改めて。
- お母さんの困り顔に具体的に寄り添っていきたい。
- 一番は多職種との連携。でもどんなレベルの人とつながるのかも大切。首、肩の緊張の取り方はどの子にも取り入れたい。けど、臨床では全員には難しいなあ。
- 午睡の時などにマッサージをしていき、子ども達が生活しやすい身体を日々作っていけるようにする。
- 箸の使い方の指導を中心に身体の使い方の説明。

### こころに残ったキーワード・収穫

- 「メンタルに入ってくるのではなく、結果を出さなければ意味がない、母の気持ち変わらない!!」今、多職種で、行政保健事業の中で子育て支援をする中で、つまづいている事もありまさに今旬の!響く言葉だった。特に全員を対象にしている事業だし、保健の現場でどこまでできるのかと悩んでいた。
- 多職種の方達との連携はとても大切で様々な方向から支援してあげる事が必要なのだと思った。
- 保健師さんや保育士さん、いろいろな方のお話が聞けて勉強になった。多職種の方のお話の中でもお母さんへのアプローチがすごく重要だと感じた。
- ボランティアとして活動されている方の熱心さ、素晴らしい。また元気とやる気をもらえたように思う。



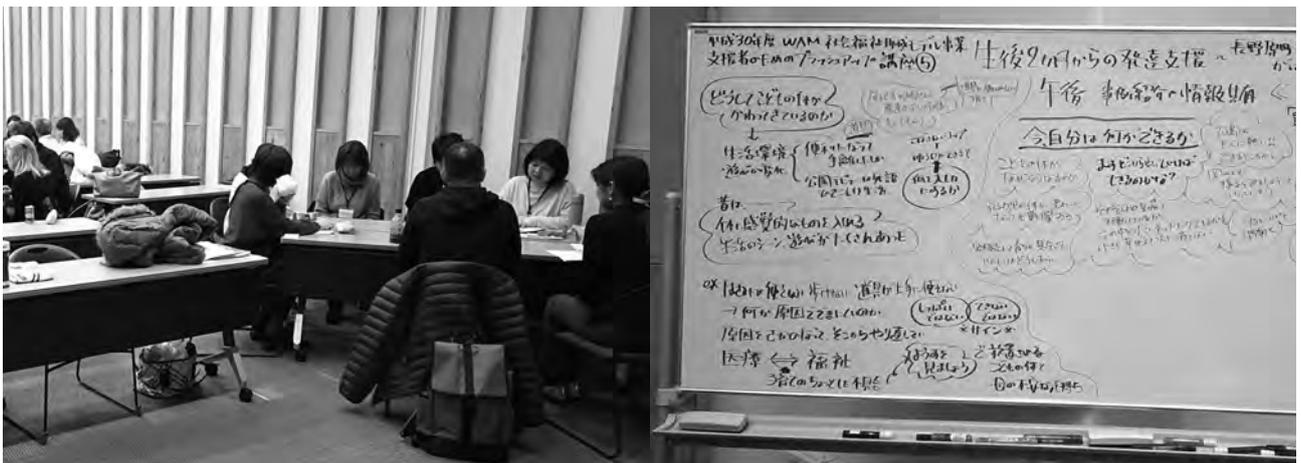
## 生後2ヵ月からの発達支援

岡山県立図書館

- いろいろな立場で発達に関わっている方ともつながりを持つ機会を作っていたらという話が出て、実際話し合いの後、連絡先を交換でき、このような機会、研修の場でいろいろな専門職の方と話す事はありがたいと思った。
- 専門家同士の横つながりが無い、行政には限界があり、子どもを支える上での社会体制の問題がどこも同じであったという事、子どもへの印象なども自分の持っているものと一致した事が印象に残った。
- 参加した方々の中で、早期から支援をされている方がいらっしゃってとても参考になった。
- 助産師の方も授乳に関して問題がある子への支援が必要と思われ支援されている事。保健師、衛生士、養教など子どもの発達が変化してきている。支援が必要と思っている人がたくさんいる事。
- 専門職のため、自分の分野ばかり深めており多職種での連携を望んでいたがずっとできないでいた。今後、多職種の方とネットワークを築けていけたらと思う。
- 同じ市の方（保健師さん）との連携を取っていきたいと思った。患者さんの中に役所（地域発展を主にされている）の方がいるので、歯科の分野以外で連携をまず広げていこうと思った。
- 口腔の発達と身体発達が深く関連している。発達と老化の深い関係性。
- 行政はデータ情報を持っている。思春期から成人期、老人期での課題の治療より予防としての取り組みが治療より費用がかからない。
- おっぱいの飲み方、飲ませ方、出過ぎるおっぱいの対処法。飲ませるお母さんの抱っこする姿勢。産後直後のお母さんは本当に大変。できたら妊婦の時から関わりたい。子育て広場のその場にいろいろな専門職が普通に在中していれば、お母さんは気軽に何でも相談できるのに…という意見。医療機関に関わるまででない小さな質問を拾い上げてくれる、そんな目安箱みたいなところできると良い。もうあるのであれば、誰でも見られるようにしてもらいたい。
- 様々な職種の方とつながるといろいろな情報を聞ける事がよく分った。鼻呼吸から口呼吸ができるようになる小さな時の身体の仕組みの変化。胎児の時から生活（母の姿勢）の影響、子育てのできる身体作りなど、3歳までの発達が高齢者の問題と深く関わっている。

### 参加による良い変化やご意見

- ママぱれっとでもやってもらいたい。みんなに共有していただきたい。
- 私達の子どもが大きくなる頃、50代くらいからロコモティブシンドロームの心配をするようになりそう。
- こちらの研修を口コミで知った。今回、貴団体の事を初めて知り興味を持った。また機会があったら、他の研修やひろばにも参加したい。
- 乳児期ごくごく初期からの関わりが子自身の成長のみならず、保護者の気持ち、生活に大きく関わる事を改めて感じた。発達障害に関してソーシャルスキルトレーニングなど療育が増えてきているが、今日の講演にあった乳児期からの身体調和支援など、土台作りの重要性を理解できた。
- 母からの横からのつながりを大切に基礎コースを学んでいきたいと思った。ありがとうございました。
- 素敵な会だった。ありがとうございます。またいろいろな職種の方と意見の交流ができたと思う。
- 多職種で共有した認識の必要性和役割分担が必要。スタッフを集めるための中心になる人材の必要性。
- 私の年齢でもできる事はある事を信じて頑張って学習して、子どもさんやお母さんひいては住民の方々の力になりたいと思う。ご指導よろしくお願いします。



研修⑤

平成 30 年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成 モデル事業

支援者のためのブラッシュアップ講座

# こころとからだを育む語りかけ、あやし方 ～ 遠野のわらべうたに学ぶ ～

赤ちゃんのこころとからだの成長に合わせて、  
赤ちゃんの目をしっかりと見つめて歌いかける  
岩手県遠野市の「遠野のわらべうた」から学びます。

日 時 2019年2月13(水)  
① 10:30～12:00 ② 14:00～15:30  
※ ①と②の内容は同じです。

会 場 いかしの舎 (都窪郡早島町早島 1 4 6 6)  
駐車台数は限られています。公共交通機関、  
徒歩、自転車などでお越しください。



対 象 保育士、助産師など乳幼児の子育て支援  
に関わる専門職  
各回定員 15 名 (うちこども同伴可能 5 組まで)

参加費 1500 円

申 込 お申込みは以下のサイトの専用フォームから  
1月22日まで受け付けます。

<https://bit.ly/2BRtU2m> QRコード ⇒



管理の都合上、お一人ずつ、お申し込みください。  
先着順ではありません。お申し込みが多い場合は調整ののち、  
受講の可否をメールで1月末日までにお知らせします。  
[ekinotikaku@gmail.com](mailto:ekinotikaku@gmail.com) からのメールが受信できるように必ず設定してください。



木津 陽子さん  
京都出身。臨床検査技師、保育士。  
長男の夜泣きに悩む中で、わらべ  
うたに出会い夜泣き解消を経験。  
以来わらべうた、特に岩手県遠野  
のわらべうたに魅了され、伝承  
者・阿部ヤエ氏のもとに14年通  
い指導を仰いでいる。現在は、全  
国各地で講座を開催している。



後 援 岡山県教育委員会、倉敷市、岡山市、早島町  
主 催 一般社団法人チカク(赤木) 電話 080-2900-8110 E-mail [ekinotikaku@gmail.com](mailto:ekinotikaku@gmail.com)

## 遠野のわらべうたに学ぶ

## いかしの舎

日 時 平成31年2月13日(水)①10時30分～12時 ②14時～15時30分  
 講 師 木津 陽子さん  
 対 象 保育士、助産師など乳幼児の子育て支援に関わる専門職  
 参加人数 大人26人 乳幼児6人

## 内 容

- 赤ちゃんのこころとからだの成長に合わせて、赤ちゃんの目をしっかりと見つめて歌いかける岩手県遠野市の「遠野のわらべうた」から学びます。
- 赤ちゃんの意欲を育てる。遊びの結果が発達。わらべうたは昔の人の教え。語りかけなど。

## アンケートより (抜粋)

## 参加目的

- 子どもとわらべうたでコミュニケーションをとりたくて、どのように取り入れていけばいいのか知りたかった。
- わらべうたをひろばの仕事に活かすため。
- 遠野の子守唄の復習。
- わらべうたでどのように発達を支援するのを知りたかった。
- 小さい頃からわらべうたは育つ環境の中で自然と入ってきていたので興味があった。お子さんとの関わりで参考にしなければなあと思った。
- 遠野のわらべうたの世界を人の温もりで感じたかった。
- 当活動の事業にわらべうたを取り入れていきたいと思い参加した。
- 親子の愛着形成にとってとても重要なものであり、特に遠野のわらべうたはより発達に沿ったものであると聞いたので、乳幼児に関わる者として学びたいと思った。
- わらべうたと育児文化を合わせて考えたかったため。
- 拠点に遊びに来るお母さん達からわらべうたや手遊びをもっと知りたいという声があり、日々の活動に取り入れたいと思ったため。

## こころに残ったキーワード・収穫

- 子どもにさせるのではなく、できている事を促す。目を見る。月齢や成長によって適した接し方がある事。
- 赤ちゃんの動き、やりたい事に合わせて、短い言葉を繰り返して、声に出して伝える。
- 赤ちゃんが人を感じて声を出す。
- おむつと食事は親が主導権。語りかけ⇒赤ちゃんには表情、しぐさが合っている方がわかりやすい。
- わらべうたは子育ての知恵や工夫が取り入れられていると言う事。
- 寝かしつけの事、成長に応じてのあやし方など知れて良かった。初めての育児でわからない事だらけで不安になっている気分が少し晴れたような、子どもと接するのに心の余裕がほんの少しできたように感じた。先生のお声やお話が心地良く、子どものために参加したわらべうただが、自分の気持ちを楽にさせてくれた会だった。また感想ではいろいろな世代の方のお話が聞けて良かった。
- 赤ちゃん自身が選ぶ。
- 遠野のわらべうたの力、素晴らしさを感じる事ができた。遠野のわらべうたには、赤ちゃんの発達に沿い1つ1つに意味が込められており、親子に伝承していく機会を作りたいと思った。
- 遠野のわらべうたは身体のみならず、心の発達にも働きかけるものだと知る事ができた。子どもの発達をしっかりと観察し、今の子どもの状態に合ったわらべうたを選ぶ事が大切だと言う事が特に心に残った。
- 五感で感じる。何も知らない我が子に、ひとつずつ手で感じさせて伝えていきたい。
- 恥ずかしいという気持ちを動作で伝える。「ちよつちよつちよつ」
- 始めにおっしゃっていたわらべうたをする事はトレーニングではない、赤ちゃんの反応を求めないという事が心に残った。つい何かをする時に反応や結果を求めがちになるが、わらべうたに限らずいろいろな育児の情報がある中でこういう視点を持ち続けていきたいと思う。

## 研修⑤

- 発達には根っこを育てる。気持ちを育てる。健やかな心と身体の成長、発達に繋がる重要なワードだなあと心に響いた！目の前にある姿の奥にある根っこの部分に気づける視点、気持ちへの寄り添い方をもっともっと学んでいきたいと思った。
- わらべうた。赤ちゃんの発達に合った遊びをする。発達に合った力がついているか確認できる。短い言葉でわかりやすく。飽きるまでやる。
- 木津さんの歌声で、お子さん達が笑顔になったり眠ったりした事。歌の力を目の当たりにした。
- その昔人育てのプログラムだった。実際に赤ちゃんの様子が見られて良かった。

### こんな風だったらと良いと思うこと

- 施設の問題だとは思いますが、少し寒かった…
- モデルの赤ちゃん連れのお母さんも大勢参加してくださり良かった。もっと長い時間あったらなあ思った。
- 時間があれば、2～3歳のお子さん向けのわらべうたについても聞きたかった。
- 強いて言うなら、もっとたくさんお話が聞きたかった！赤ちゃん向けだけでなく、幼児、児童向けなども。

### できること、やってみたいこと

- 乳幼児の母親対象に言葉の発達や関わりの講座の中で、コミュニケーション、スキンシップ手段の1つとしてわらべうたを取り入れられたらと思った。
- させようとするのではなく、子どもの真似をする事。にぎにぎなど発達に応じた接し方。
- オムツ替えの時に話しかけて、異常がないかどうかみてあげる。今までもオムツ替えの時に話しかけてはいたけれども、特に何も考えず話しかけていただけで、足の長さを見るなどまではしていなかったので、オムツ替えひとつとっても参考になった。
- 赤ちゃんの動きを見て、言葉にして言う。子守唄。
- 「ん、くー」は次回、新生児さんに会う時にやってみる。[k]の音への反応を見てみたい。
- にぎにぎ、あーわわわ、てんちてんち…など、手や口を使って赤ちゃんとのコミュニケーションをとっていききたい。
- 教えていただいたわらべうたあそび（てんこてんこ かんむかんむ）を早速取り入れたいと思った。
- 歌までは習得できなかったが…子どもへの接し方や、あやす言葉をやっていく。
- ただわらべうたが好きでたまらないので わらべうたの事なら。



## 遠野のわらべうたに学ぶ

## いかしの舎

- あやすためにいろいろな事を行っているが、1つの事を何度もして、子どもができるようになったら、次の新しい事をやってみるようにしようと思う。
- 月齢に応じた7つの語りかけを実践してみようと思う！
- 赤ちゃんの発達の過程に合わせたいろいろなわらべうたの声かけをぜひ実践してみたい。またリズムにのせて気持ちを育てるという事も、仕事で、また自身の子育てにもしっかり取り入れていきたいなと思った。
- まずは我が子に歌いかける事、その体験をお母さん達にお伝えする事。

## 参加による良い変化やご意見

- 遠野のわらべうたに初めて触れる事ができ、楽しく学ぶ事ができた。
- この時期に遠野のわらべうたの「心」に触れる事ができた事は、大きな喜び。
- この空間で過ごすだけで気分がリフレッシュする。
- とても参考になった。声かけなど、数ヵ月早くお話を聞いていたかった。
- 気軽な気持ちで参加したが、母子ともに癒され、参加できて良かった。あの雰囲気でのあのスタイルの講座もとても良かった。またこのような会に参加したい。ありがとうございました。
- とても素敵な時間を過ごせました。木津先生の声が、魔法のよう。
- 普通では聴けないような先生のお話を聴くことができた。ありがとうございました。
- 木津先生の語り方がとても優しく癒された。子守唄もとても良かった！！またお会いしたい。会場がとても趣がある場所で落ち着いた中での研修でとても良かった。親子の参加があり、実際に先生が赤ちゃんに語りかけされているのを見る事ができ勉強になった。ありがとうございました。
- わらべうたにぴったりの美しい空間で、皆様に温かくお迎えいただいて安心して受講できた。貴重な講座はこれから赤ちゃん達に向かう時間への気づきや学びがたくさんあった。まずは大人の在り方だな、と。赤ちゃんの透明な本能を真っ直ぐに見つめながら関わっていききたい。木津先生が赤ちゃんに語りかける横顔と赤ちゃんのまなざしを忘れない。また参加したい。
- 子育てひろばではどのように遠野のわらべうたを活かしていくのかもっと学びたい気持ちが湧き出てきた。学びのご縁をいただき本当にありがとうございました。いつも素晴らしい学びを企画していただき感謝。また参加させていただきたい。



研修⑥

平成 30 年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成 モデル事業

## 支援者のためのブラッシュアップ講座 ファシリテーショングラフィック 技能修得セミナー

つまらない会議よ、さようなら！場をあたためながらみんなで前に進む、話題のファシグラ講座です。絵をかくことが苦手でも大丈夫！文字だけのものから絵や図解を用いたものまで、その場に合わせて使い分けことができます。

日時 2019年2月16(土)  
10:00~16:30

カリキュラム

- 1) グラフィックファシリテーション (GF) とは
  - ・基本的な知識
  - ・GFでできること
  - ・GF活用事例 (最新の事例から)
  - ・グラフィックを使った会議のポイント など
- 2) 絵心なくても大丈夫！  
簡単に描けるアイコン練習
- 3) 実践グラフィックファシリテーション  
聞く・描く(書く)・活用する

会場 倉敷市男女共同参画センター  
倉敷市阿知1丁目7-1 天満屋倉敷店6階会議室  
参加者のための駐車場はありませんので、  
近隣の駐車場にとめてお越しく下さい。

対象 保育・子育て支援・地域支援に関わる方  
定員 40名程度

参加費 一般 4500円  
当日学生証提示の専門学校生、大学生に学割あり。

申込 締め切り 1月31日。先着順。

右のQRコードか、  
下のURLからお申込みください。  
<https://bit.ly/2SkVRGW>



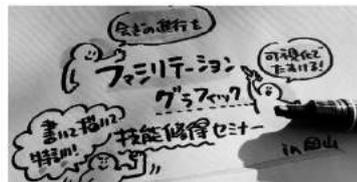
※ 諸連絡のため、必ず  
ekinotikaku@gmail.com から  
受信できるように設定してください。  
※ いただいた個人情報は研修のお知らせ以外には使いません。

後援 岡山県教育委員会、倉敷市、岡山市、早島町  
主催 一般社団法人チカク 担当 | 赤木 (080-2900-8110)



講師 | 玉有 朋子 さん

山形出身、徳島在住。徳島大学大学院修了(修士/工学) 都内 web 制作会社勤務から徳島に嫁ターンし、徳島大学 助教を経てフリーランスに転向。在任中の中山間地域での活動を通して、高齢者にもわかりやすく、親しみやすい伝え方を模索しているうちにファシリテーショングラフィックに辿り着く。現在は県内を中心に、まちづくりや女性支援など様々な講演会やワークショップ等のファシリテーターやグラフィッカーとして活動を行っている。



## ファシリテーショングラフィック技能習得セミナー 倉敷市男女共同参画推進センター

日 時 平成 31 年 2 月 16 日 (土) 10 時～ 16 時 30 分  
 講 師 玉有 朋子さん  
 対 象 保育・子育て支援・地域支援に関わる方  
 参加人数 大人 33 人

### 内 容

- つまらない会議よ、さようなら！場をあたためながらみんなで前に進む、話題のファシグラ講座です。絵をかくことが苦手でも大丈夫！文字だけのものから絵や図解を用いたものまで、その場にに合わせて使い分けことができます。
- ファシリテーショングラフィックの説明。ペンの使い方。自己紹介。ワークショップ。情報共有。話しやすい安全な場作り。問題の外在化。ハーベスト。描き方レクチャー。ストーリーテリングトリオ。未来図テンプレートなど。

### アンケートより (抜粋)

#### 参加目的

- 会議の時にうまくまとめられなかったり、うまく書けなかったりしていたのを何とかしたい！！と思った。
- 私もファシグラをいろいろな場で活用したいと思って参加した。
- 話し合いに役立つと思ったから。
- 伝えるスキルを身につけたい。まとめる整理するツールとして、自己発散（感情解放）のツールとして活用したいと思ったから。
- 地域のイベントで役立てたい。楽しそう。
- 仕事や職場で使いたい。
- 伝える・伝わるためのツールが欲しかった。
- 自分のグラフィックで伝えたい事をよりわかりやすく伝えられたらいいなと思い、その技術を身につけたいと思っていて、近県での講座がある事を知り申し込んだ。
- 前回、たまちゃんの講座に参加して楽しかったので、より学びを深めたいと思った。
- 楽しく、わかりやすく伝える事のできる技術を学ぶため。
- 小学校の授業力の向上。学校経営に活かす。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- ファシグラを使用する事で会議後にでもシャッター記憶として各自に残りやすい。子ども達にもわかりやすく、発達障害のある子（人）にも大変有効だと思った。
- ハーベスト。同じ物を見て、最後に同じ話ができるところが良いと思った。
- 上手にまとまりがあるように書きたい気持ちもあるけど、その場になれば書くしかないんだな～と思った！！
- すごく楽しかった！！収穫だらけだった！！やってみる！！
- 話し合いをする時はみんなが動き出せるような編集ができるように準備する。
- 言ってはいけない「絵心のなさ」少し気持ちが楽になった。
- 違和感を感じた時が進化する時。振り返ってみて、本当にそうだ！！と思った。
- 描く事で共有。心の中の声や状態を言語化する。
- たまちゃんの進行が温かくて素敵だった。声も好き。
- ハーベスト。「何を収穫し何を分かち合ったか」
- 絵を描きながらの会議。話がずれない。
- とにかく描く！！ひたすら描く！！
- まずは聞く、手段であるという事。自分なりに活かしたいと思った。
- わくわく感。
- 「とにかく楽しんで書く」認知症予防のためにも頑張る。

## 研修⑥

- 「書く事で何に貢献するか」 その本質がブレない事が大切だと感じた。
- 絵を使ったり色を使ったりで、こんなに変化する事にびっくりした。
- 「書いたものがあれば本題に戻りやすい」「グラレコ3大要素」「ツールだから使ってください」「違和感を感じた時が進化する時」
- 結果に納得しやすい。
- 話し合いのツール、情報共有のために使うなど、目的を達成するための手段の1つとして使う事を意識する。

### こうだったらよかったなと思うこと

- 2日に分けてあっても良かった。(3件)
- とても面白かった！グラレコの描き方のパターンなど基本的な事を教えていただけるともっと良かった。
- 先生の実演があるともっと書きやすかったと思う。
- シリーズで展開してくれるとありがたい。
- ゆっくりの時間、フリースタイルなどがあると嬉しい。
- ワークが多くて楽しかったが、少し内容を精選しても良かったのではと思った。

### できること、やってみたいこと

- 学校で生徒・先生達とやってみたい。
- 会議でメモを取る時、活用する！！
- 話し合いをグラレコする。練習する。
- いろいろな場で、まずは描いてみる事。紙とマジックを買う。
- 仲間との情報交換として、子ども達との話し合いとして使いたい！
- 次回の打ち合わせや会議で活用しながら練習していきたい。
- 書く事を止めない事。思考整理のためにも。
- 世のため、人のため、業界のため、活用する。
- 認知症の本人さんや伝えづらさのある方の思いを伝えられたら良いと思うのでひたすら描く。
- ボランティアのグループで今後の展開など話す時にやってみたい。
- メモを取る事が多いので取り入れたい。
- アイコンを楽しく描けるよう練習したい。
- 教員なので、板書や子どもの表現物、研修のまとめなどに取り入れる。



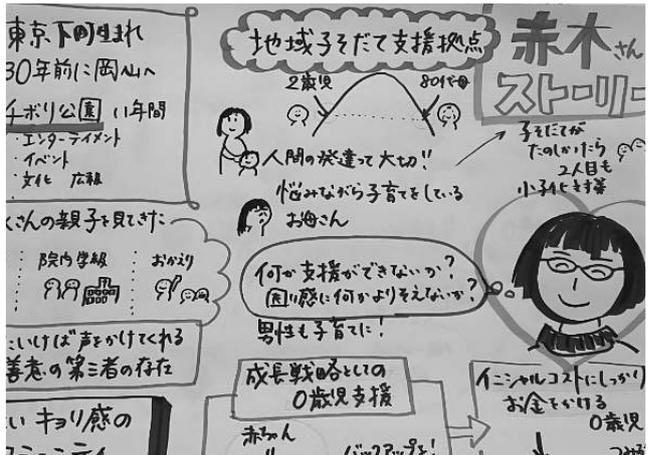
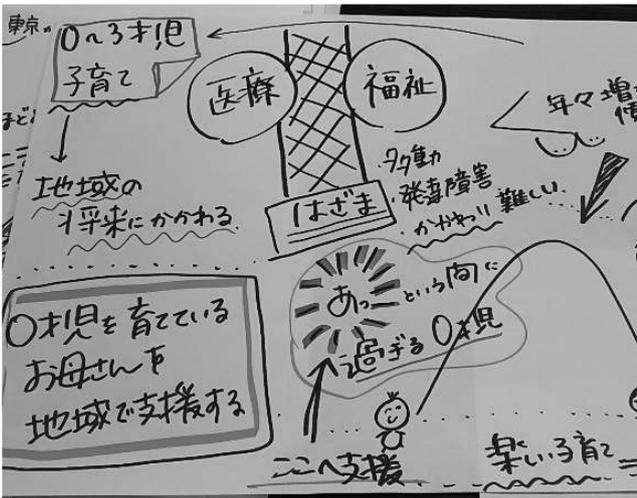
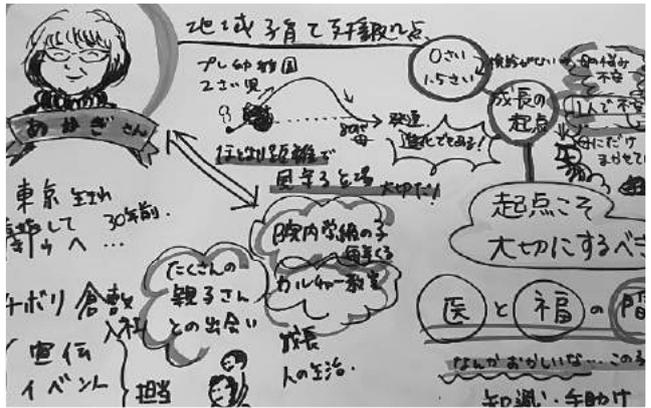
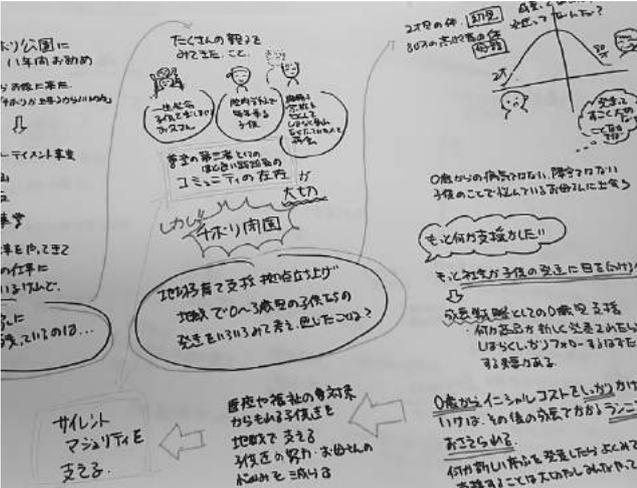
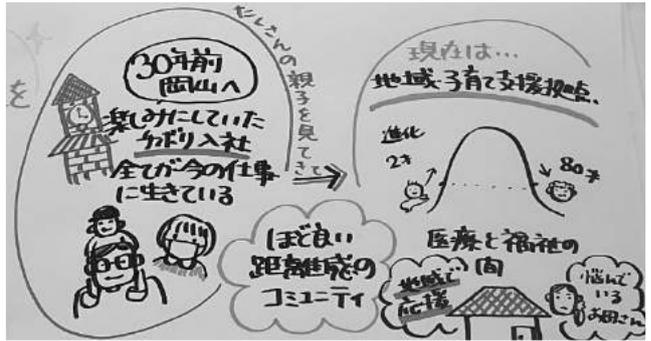
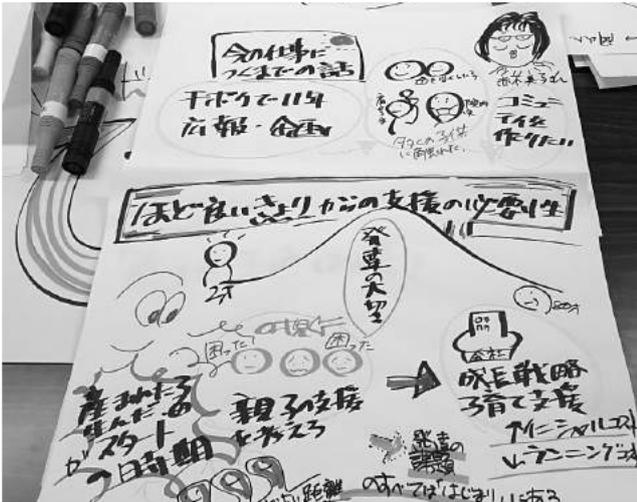
### 参加による良い変化やご意見

- 楽しい講座で、一生懸命取り組んだので疲れた！！心地よい疲れ。
- 楽しい会をありがとうございました。半日とかではなく、がっつり1日でワークをしながら学べたので良かった。先生も親しみやすい方だった。
- お世話になりありがとうございました。グループの方との交流が楽しかった。未来図の中で気になる方を見つけた。声をかけてみる！！(話をしていないけど通じる物があつた)ありがとうございました。
- 内容の濃い1日だった。これからはひたすら描き、いろいろな方のグラフィック、グラレコを学びたいと思う。
- スケジュールはきつかったが充実していた。持ち帰って練習しスキルアップを目指す。
- とても楽しい時間だった。勇気を出して参加して良かった。ありがとうございました。
- 後は自分でやってみて場数を踏むしかない。自己研鑽する。
- 大分から来て良かった。
- 非常に学びの深い内容だった。

ファシリテーショングラフィック技能習得セミナー 倉敷市男女共同参画推進センター

実習 | グラフィックレコーディング

- 一般社団法人チカクの「起業から0歳児の発達支援事業に至るまでの経緯」について、10分の話をも、参加者全員が2度聞き、2度ずつグラレコした。
- 話の流れ | 倉敷チボリ公園は多様な人を受け入れる善意の第三者のいるコミュニティだった → 子育て支援の事業の中で感じた子どもの体の変化、不安げな母親の様子 → 80代の体と2歳児の体。進化か退化か → 成長戦略としての0歳児の発達支援の必要性を社会に訴えたい。
- 整理の仕方、話のどこに力点を置くかなど、工夫が見られる。



研修⑦・報告・ネットワーク会議

ママぱれっと（0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業）  
**支援者研修とネットワーク会議**  
**2019年3月1日(金)10:20～16:30**

会場 | 倉敷市男女共同参画センター第1会議室（倉敷駅前 天満屋倉敷店6階）

対象 | 保育・子育て支援および保護者支援に関わる専門職、行政関係者など 定員30名程度

参加費 | 1500円 ※申込み方法は裏面をご覧ください。

どの子どもその子らしく、自分なりに満足できる。  
そんな毎日が暮らせるように。支援者ができることを考えます。

<1> 支援者研修 10:20～12:20



**学童期のこどもの様子から  
0歳児の発達支援を考える**

NPO 法人はびりす 代表理事、作業療法士

**山口清明**さん

<2> 報告①13:20～

**子リスのひろば  
赤ちゃんとお遊ぼう**

ママぱれっとの現場から

Rie Child Support 代表、  
作業療法士

**引野里絵**さん



<3> 報告②14:10～

**0歳さんの日  
アラ40ママ**

ママぱれっとの現場から

ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 所長  
助産師

**村口裕美**さん



<4> ネットワーク会議（講師・参加者の意見交換）15:10～16:30

テーマ

**障がいの有無にとらわれない  
乳幼児期からできる支援とは？**

後援 岡山県教育委員会、倉敷市、岡山市、早島町

主催 一般社団法人チカク 担当 | 赤木 (080-2900-8110)

平成30年度 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成モデル事業

## 倉敷市男女共同参画推進センター

ママぱれっと（0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業）

## 支援者研修とネットワーク会議

日時 | 2019年3月1日(金)10:20~16:30

会場 | 倉敷市男女共同参画センター第1会議室（天満屋倉敷店6階）

対象者 | 保育・子育て支援、保護者支援に係る専門職、行政関係者など 定員30名程度

申込 | ekinotikaku@gmail.com までに、



① お名前とよみがな、②職種 or 所属、③活動する市町村名、④携帯電話番号をメールでお知らせください。参加のご案内を2日以内に返信します。

※ 参加費1500円は当日お支払いください。欠席の場合は必ずご連絡ください。

※ ekinotikaku@gmail.com から受信できるように必ず設定してください。

※ いただいた個人情報は研修のお知らせ以外には使いません。

←左のQRコードからも簡単にお申し込みいただけます。

タイムスケジュール | 開場10:00~

10:20~12:20 学童期のこどもの様子から0歳児の発達支援を考える 山口清明さん

13:20~14:00 ママぱれっとの現場から「子リスのひろば、赤ちゃんと遊ぼう」 引野里絵さん

14:10~15:00 ママぱれっとの現場から「0歳さんの日、アラ40ママ」 村口裕美さん

15:10~16:30 ネットワーク会議（講師・参加者の意見交換）、アンケートなど

「障害の有無にとらわれない乳幼児期からできる支援とは？」

## 登壇者プロフィール ※登壇順

## 山口清明 さん

NPO法人はびりす 代表理事、作業療法士、児童発達支援管理責任者。

慶應義塾大学卒業後、大手企業に入社。一見、華やかな経歴を持つが、実は、「生きづらさ」を抱えた半生だった。幼いころから感情の起伏が激しく、どこに行っても問題児扱いされた。社会人になってからも経済的な価値ばかりを追い求める仕事に適応できず、悩みを深めた。作業療法理論を学んで、これまでの自分の「生きづらさ」の全てに説明がついたとき、人生に明るい光が差した。障がいの病も、外見も内面も全てひっくるめてその人自身の「味わい深さ」。それを生かしながら、どうやって自己実現につなげていくか。従来とは違うアプローチでリハビリテーション界にイノベーションを起こそうとしている。

## 引野里絵 さん

Rie Child Support 代表、作業療法士。

重症心身障害児施設、コスタリカ共和国国立脳性まひ養護学校、東立広島大学保健福祉学部作業療法学科助教、出雲市民リハビリテーション病院子ども発達相談室室長、放課後等デイサービス児童発達支援管理責任者、日本感覚統合学会インストラクターを経て、2016年リエ・チャイルドサポートを開設。子どもの「出来ないことに注目しすぎず」、家庭や保育所・学校等、暮らしの現場で、子どもの「出来ることを活かし」「実行しやすい環境や仕組みを作り」「子どもの理解者を増やし」「子どもの育つ力を引き出す」サポートを行う。

出雲市教育委員会：出雲市特別支援教育推進委員会 委員。

## 村口裕美 さん

ぐらん\*ま 倉敷自然育児相談所 所長、助産師・保健師・看護師。

故 山西みなこ先生に師事しながら、約15年間宮崎県で母乳育児相談所を、その後10年間助産院と改名し「産」を扱う。2013年より岡山県へ移住。看護専門学校「母性看護学」非常勤講師、水島中央病院小児科・福山市イトーヨーカ堂・倉敷市の赤ちゃん訪問などで育児相談を担当する中、出産・育児に苦勞する母の様子を見て、ドイツの助産師のように妊娠中から出産・育児までのあいだ母子を支える「かかりつけ助産師」必要性を強く感じ、2016年4月「ぐらん\*ま」を開設した。

身体調和支援体操アドバイザーB級認定、UAMスタートレーナー認定、テルミー療術師。第23回母子保健奨励賞受賞。

## ママぱれっと（0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業）とは

平成30年度 独立行政法人福祉医療機構（WAM）社会福祉振興助成 モデル事業として助成を受け、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、3歳児以下、特に0歳児の発達課題を丁寧に見る「親子の居場所づくり」を行う事業です。0歳児の心と体の発達に「視点」が持てるよう、専門職と地域の支援者がさまざまな側面からともに学び、親子に寄り添いながら生活圏でネットワークを形成するため、次の二つの事業を行います。

<事業A> 親子に寄り添いながら、支援者もいっしょに乳幼児の発達支援を学ぶ「ママと赤ちゃんの居場所」

<事業B> 子育て支援にかかわる専門職・支援者向けスキルアップ研修およびネットワーク会議

平成30年度 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成モデル事業

## 研修⑦・報告・ネットワーク会議

日 時 平成31年3月1日(金) 10時20分～16時30分  
 講 師 山口清明さん 引野里絵さん 村口裕美さん  
 対 象 保育・子育て支援および保護者支援に関わる専門職、行政関係者など  
 参加人数 大人22人

### 内 容

- どんな子もその子らしく、自分なりに満足できる。そんな毎日が暮らせるように。支援者ができることを考えます。
- 学童期のこどもの様子から0歳児の発達支援を考える。(山口清明さん)
- ママぱれっとの現場から。子リスのひろば、赤ちゃんと遊ぼう。(引野里絵さん)
- ママぱれっとの現場から。0歳さんの日、アラ40ママのひろば。(村口裕美さん)

### アンケートより(抜粋)

#### 参加目的

- 現場に活かす。
- 私にできる事の学び。
- 乳幼児期との連携を作る。
- 0歳児からの支援を学びたいと思い来た。
- 0歳児の発達支援が今年度から始まり、作業療法士や歯科衛生士とともに行政として仕組み作りをしているところなので、とても興味深い研修だった。ヒントをもらえたり、また、同じ思いで参加される方々と交流したかったから。
- 学童期を見据えた0歳児への関わり方に興味があった。
- 徳島の上勝町で赤ちゃん&ママ支援を深めていくための情報を集めたい。
- 乳児からの関わりについて知りたかった。
- 発達支援を普通の子ども達にも取り入れられないかという思いから。
- 0歳からの発達を学びたかったから。
- 学童期の課題から見たら、0歳児のどのような関わりが大事なのか学ぶため。
- 興味関心をひかれた。
- 自分達はこれからどういう方向で母親や子ども達と接していけば良いのか考えていたので。

#### こころに残ったキーワード・収穫

- 神話。
- 個性を伸ばしていく。そのためのストーリーを一緒に考えていく。
- 子どもの「自然」子は神様「七福神」
- お産はすごい！！
- 7歳まで子どもは神様。初めて聞いたが納得した。
- 神がかった子どもの言動、そう思えた瞬間何とも愛おしく思えた。支援する側の視点として問題解決型の癖があるが、伸びしろはどうだろう、やれそうならやってみたいと思える事は何だろうなど見方がとても大き過ぎて、こういう視点でやっていけたらと思った。
- 多職種との連携。チームを作る。
- 今までの思い(私自身の)がぎゅっと詰まったような、言語化されてスッキリしたような思い。ADHD=子どものスライドで、はっとして世界が明るく感じた。
- 「役に立っているよ」
- 発想の転換とショートカット。
- 解釈の空中戦。幸福の追求。障害は認識論。ストーリーは描くもの。相互する視点…総合的見立て。伴走車。
- ストーリーで伝わる。親子の困り感に寄り添うから視点の変化ができると、実現できる事が見えたのでやってみたい。
- 「心配ないよ、お母さん」「どの子もみんなすくすく育つよ」

## 倉敷市男女共同参画推進センター

- 捉え方を変える。⇒見通し。⇒遊ぶ！
- 今何が大切か、胸に落ちてきた。
- あっという間だった。
- 山口先生の思いあふれる研修を仲間とシェアできてとても幸せに思った。
- 他ではない研修（技術や知識ではなく幸せが詰まった）だった。
- 動画がたくさんあり、スーと頭から心に入ってきた。
- 何を大切にするのかを改めて考える事ができた。
- それぞれの現場感からの視点がとても良かった。
- 方向性、取り組み方を明るい見通しとして考えていけそう。

## こんな風だったらよかったと思うこと

- 全部良かった。ありがとうございました。
- もっと聞きたかった。（2件）
- 山口先生の話をもっともっと聞きたかった！
- みんなと知り合える時間。最後できたが…
- 午後の発表も何か資料かまとめがもうちょっとあれば嬉しかった。
- お茶やお菓子の気配りが嬉しかった。
- 欲だが、もう少しゆっくり。

## できること、やってみたいこと

- 個々の母親への対応の仕方。明るい見通しを言葉にしていけたらと思う。子どもと一緒に遊ぶ。
- 今以上にホリスティックに観たい。
- 子育て中の人の居場所、雑談、井戸端会議ができる仕組みを作る！
- できない事にばかり目が向いていたが、子どもの笑顔を引き出せるようにやっていきたい。
- 作業療法士の仕事をもっと自分の言葉で伝えられるようにしたい。保育所、保護者から求められる仕事もあるが、その中に作業療法士としての思いも乗せていきたい。
- 今回は考え方や捉え方がとても勉強になった。自分のところの教室に活かしていきたい。
- 私は助産師。出会うママ達、子達に対する関わりベースにして関わっていきたい。
- 0歳児に特化した支援事業に取り組みたいという気持ちが湧き起こった。

## 参加による良い変化やご意見

- 周囲の人達とどのように組んで集合知で乗り越えていけるかな～。
- 「大変!!」というこちらの思いを横に置いて、事実を見て楽しむ姿勢を貫きたいと思った。ありがとうございました。
- 疲れが取れた。私の現場で頑張れそう。ありがとうございました。
- 「捉え方を変える」視点を見失わないようにしたい。
- 一緒に働く他の職種の方と共通理解ができた。日々の私の思いも詳細にわかったと言ってもらえた。
- 感動した。
- 作業療法士による子ども支援についてほぼ初めて知った。自分の地域ではどうなっているのか確かめたいと思う。



左は午前午後の講師のお話のグラレコ。右は講師三人と参加者とのネットワークミーティングのグラレコ。参加者はそれぞれ写メして持ち帰った。



## 連携講座

### 連携講座① 防災・減災教育勉強会～西日本豪雨後のいのちを守る防災～

日 時 8月30日(木) 14:00～16:00 倉敷男女共同参画センター  
 講 師 国崎 信江さん(危機管理教育研究所 代表)  
<http://www.kunizakinobue.com/aboutus/kunizakinobue.html>  
 対 象 被災地支援を行う子育て支援関係者、防災関係者向け  
 申込人数 22人 参加人数 22人

#### 内 容

- 7月7日の西日本豪雨を受け、共催団体(子ども防災ネットワークおかやま、全労済岡山県推進本部)と開催。多大な被害を出し、当団体職員も被災、被災していなくても心理的な衝撃が大きかったため、早くから被災地入りしていた危機管理の専門家の協力を得て、これらすべきことを見渡す意味で行った。
- 各地の防災士会、県内の子どもに関する防災教育に興味のあるNPO、企業経営者などが参加。申込者は無遅刻、無欠席で、関心の高さがうかがわれた。



### 連携事業② 乳幼児のための感覚統合遊びセミナーなど

日 時 9月24日(祝月) 9:30～16:30 岡山国際交流センター国際会議場  
 講 師 高畑 脩平さん(白鳳短期大学総合人間学科 リハビリテーション学専攻講師)  
 対 象 保育士、作業療法士、学童保育・子育て支援に関わる人、保護者  
 申込人数 100人 参加人数 95人

#### 内 容

感覚統合の基礎知識と、0～2歳、3～5歳までの年齢区分ごとの感覚統合遊びの事例と乳幼児内容  
 児期の成長発達を知り、学童期思春期とつながる基本を学ぶ。

- 役割などについて 申請時に当団体で招聘を予定していた講師を、前年に開催実績がある学童保育連絡協議会が招聘することになったため、スタッフを派遣し、告知と運営に協力して開催。当初、7月7日が開催日であったが豪雨災害当日で順延となったもの。
- 代替の開催日にメインの保育士の参加が難しかったため、別の感覚統合セミナー(岡山 宇佐川研～発達障害臨床研究会～ 2018/8/19日曜日 9:30-16:45 @早島町ゆるびの舎)にも参加することとした。



## 連携講座としてスタッフを派遣 あるいは 相互協力(告知など)を行ったもの

### 連携講座③ 障がい児の保護者の居場所づくりノウハウ移転事業 ～保育士×保護者支援マインド～

座 学	2018年7月12日	くらしき健康福祉プラザ
実 習	7月・10月・11月	うさぎカフェで1日あたり2人×5日
講 演	2019年1月29日	早島町で「保護者支援啓発講演会」の開催（ゆるびの舎）
援 助	2019年2月22日	アフターフォロー：カフェの開催（いかしの舎）

#### 内 容

- 連携の趣旨 発達に課題を感じている保護者への適切な対応に悩む局面が増えてきたため、ピアサポート団体が行うノウハウ移転事業の移転先として名乗りをあげた。WAM事業で、当初予定していた発達支援のNPOとの連携がタイミングが合わず、かなわなかったこともあり「座学～カフェ実習」を含めた一連のノウハウ移転事業を受けることになった。



- 目指す姿は次の通り。チカクのスタッフである保育士が、子育て支援の現場において、子どもの障がいの診断名の有無に関わらず、不安を感じる保護者を丁寧かつ適切にフォローすることにより、子どもが小さいうちからの細やかな子育て支援が実現する。保護者にとっては、子どものことをよく知ってくれている保育士の先生が、最も身近な理解者・相談相手になってくれることにより、大きな安心感を得られる。チカクが関わる保護者は、以前よりも理解者の支えを感じながら安心して子育てできるようになる。

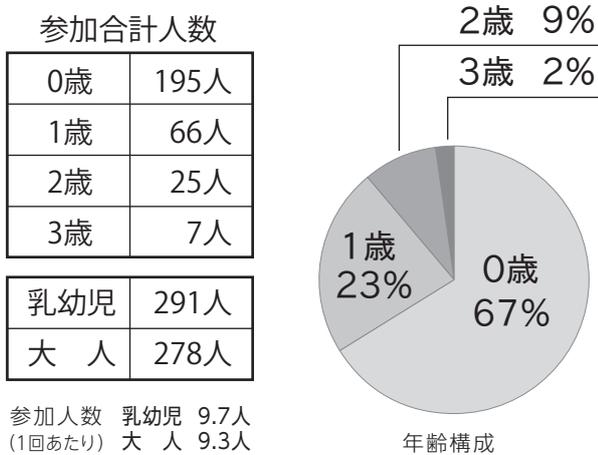


- 以上の事業を平成30年度中に行う。  
当社人件費以外は、事業運営主体であるNPO法人ペアレント・サポートすてっぷが受ける助成で賄われる。

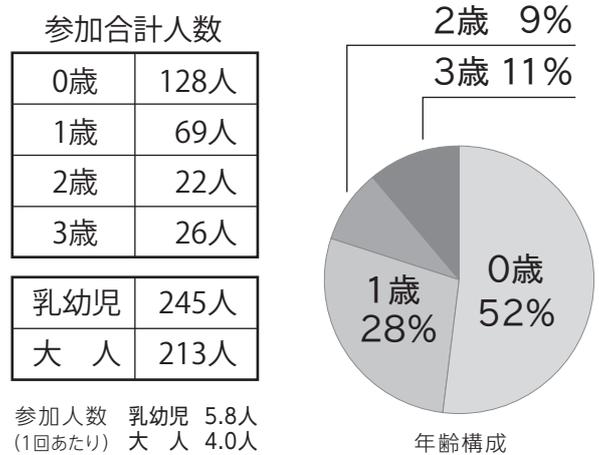
### 参加者人数とアンケート調査満足度

ママぱれっと(午前)	0歳さんの日										アラ40ママのひろば							赤ちゃんとお遊ぼう							子リスのひろば										
	アドバイザー 村口 裕美										アドバイザー 村口 裕美							アドバイザー 引野 里絵							アドバイザー 引野 里絵										
	参加人数 (1回あたり) 乳幼児 10.6人 大人 10.2人										参加人数 (1回あたり) 乳幼児 10人 大人 9.6人							参加人数 (1回あたり) 乳幼児 11.2人 大人 11.2人							参加人数 (1回あたり) 乳幼児 6.1人 大人 4.5人										
日付	7/24	8/21	9/26	10/24	11/21	12/13	1/23	2/20	3/6	参加者	7/31	8/28	10/25	11/22	1/24	2/21	参加者	7/27	8/31	9/19	10/18	11/29	12/12	1/31	2/28	3/14	参加者	9/20	10/17	11/28	1/30	2/27	3/13	参加者	
曜日	火	火	水	水	水	木	水	水	水	(計)	火	火	木	木	木	木	(計)	金	金	水	木	木	水	木	木	木	(計)	木	水	水	水	水	水	(計)	
0歳	5	10	11	6	11	13	12	11	12	91	3	5	6	7	5	5	31	9	14	7	7	8	9	5	1	5	65	0	0	1	2	0	5	8	
1歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	4	6	4	0	2	18	5	2	1	4	2	5	8	5	4	36	0	2	1	2	2	4	11	
2歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	1	2	1	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	6	3	0	14	
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	4	
乳幼児	5	10	11	7	11	13	12	12	14	95	8	10	13	13	6	10	60	14	16	8	11	10	14	13	6	9	101	1	3	7	11	6	9	37	
大人	5	10	11	7	11	13	12	11	12	92	8	10	12	14	5	9	58	14	16	8	11	10	14	13	6	9	101	1	3	6	8	4	5	27	
満足度※	満足	-	-	10	7	10	10	10	10	12	90% (69人)	-	-	9	12	5	7	83% (33人)	-	14	8	10	7	10	10	5	7	86% (71人)	1	3	4	6	4	5	96% (23人)
	やや満足	-	-	1	0	1	3	2	1	0	10% (8人)	-	-	3	2	0	2	17% (7人)	-	2	0	1	3	2	2	1	1	14% (12人)	0	0	0	1	0	0	4% (1人)
	回収率	-	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		-	-	100%	100%	100%	100%		-	100%	100%	100%	100%	86%	92%	100%	89%		100%	100%	67%	88%	100%	100%	
0歳	3	7	6	6	12	8	9	6	5	62	4	6	4	3	3	2	22	2	18	4	4	8	5	3	1	3	38	0	0	3	1	1	1	6	
1歳	1	1	0	1	2	3	3	1	4	16	1	1	4	3	1	0	10	4	3	2	2	4	7	4	5	3	34	0	1	2	1	2	3	9	
2歳	0	0	0	0	0	1	1	2	1	5	0	0	1	1	2	1	5	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	4	0	3	2	9	
3歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	0	1	0	0	5	4	1	0	0	0	2	0	0	1	8	0	0	1	1	2	7	11	
乳幼児	5	8	6	7	14	12	13	9	11	85	7	9	9	8	6	3	42	11	12	6	6	13	14	7	6	8	83	0	1	10	3	8	13	35	
大人	4	8	6	7	14	12	12	7	9	79	5	8	8	7	5	2	35	8	11	6	6	12	12	7	6	7	75	0	1	7	2	5	9	24	
ぱれっとひろば(午後)	参加人数 (1回あたり) 乳幼児 9.4人 大人 8.8人										参加人数 (1回あたり) 乳幼児 7.0人 大人 5.8人							参加人数 (1回あたり) 乳幼児 9.2人 大人 8.3人							参加人数 (1回あたり) 乳幼児 5.8人 大人 4.0人										

● ママぱれっと（午前 10時～12時）



● ぱれっとひろば（午後 12時～15時）



◆ アンケート調査

満足:87% (196人) やや満足:13% (28人)

(アンケート調査 実施なし)

地域力アップ! 支援者のためのブラッシュアップ講座

講師	講座タイトル	開催日	乳幼児	大人	満足度 ※			参加者の職種
					満足	やや満足	回収率	
都築 照代	えほんの読みかた	9/12 (水)	0	16	14	0	88%	保育士 子育て支援員 絵本のみよきかせ支援者 など
山口 育子	アドラー心理学に基づく “楽育”の子育て支援	11/7 (水)	0	15	12	0	80%	保育士 子育て支援員 作業療法士 など
高尾 明子	こどもの心を動かす 体のレッスン	11/14 (水)	2	37	30	0	81%	保育士14名 助産師6名 子育て支援員5名 教員2名、そのほか(歯科衛生士/ダンス療法指導員・音楽講師/看護師/保健師/スイミングインストラクター/ダンサー/自力整体指導員/シェアハウス運営/地域おこし協力隊 など) ※託児3
町村 純子	生後2か月からの発達支援 ～長野原町の乳児発達 支援事業が始まった理由～	12/9 (日)	7	52	43	0	83%	保育士10名 歯科衛生士9名 保健師9名 子育て支援員4名 歯科医師2名 助産師2名 看護師2名 理学療法士2名 養護教諭2名、そのほか(元幼稚園教諭/ママヨガ講師/学校司書/児童指導員/児童発達支援管理責任者/会社員/青少年育成委員協議会/社会福祉士 など)
木津 陽子	こころとからだを育む あやし方、語りかけ ～遠野のわらべうたに学ぶ～	2/13 (水)	6	26	19	0	73%	保育士11名 看護師2名、そのほか(地域子育て支援拠点責任者・子育て支援センター/子育て支援員/幼稚園教諭/タッチケア指導員/教員/社会福祉士言語聴覚士/医療系/助産師/シェルハブ・メソッド国際公認指導員 など)
玉有 朋子	ファシリテーショングラフィック 技能修得セミナー	2/16 (土)	0	33	29	1	91%	教員6名 公務員2名 会社員2名 看護師2名 子育て支援員2名 社会福祉士2名 障害者支援2名、そのほか(保育士/助産師/精神保健福祉士/福祉施設職員/児童館支援員/子どもセンター/放課後児童クラブ支援員/司法書士/自営業/農家/建設業/ブライダルスタイリスト など)
山口 清明	学童期のこどもの様子から 0歳児の発達支援を考える	3/1 (金)	0	22	13	1	64%	作業療法士4名 子育て支援員4名 助産師3名 保健師2名 拠点責任者2名、そのほか(理学療法士/歯科衛生士/保育士/学童保育/防災士/CAP/木のおもちゃ専門店主 など) ※午前中で帰られた方が数人いて回収率が低くなった。
村口 裕美 引野 里絵	障がいの有無にとられない 乳幼児期からできる支援とは?							
参加合計			15	201				

※ 満足度調査のうち回収率100%に満たないところは、満足度未記入あるいは未回収で「やや満足」未満の回答はありません

# ママぱれっと 資料編

## 目次

---

・ママぱれっとの視点	
・WAM助成 事業概要	
・0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業（事業構成について）	1
・WAM事業申請の背景／本事業は何を意図して行われたか	2
・事業A ママと赤ちゃんの居場所（内容、アンケートなど詳細）	
0歳さんの日	3
赤ちゃんと遊ぼう	13
アラ40ママのひろば	23
子リスのひろば	31
ぱれっとひろば（概要）	36
・事業B 子育て支援者のためのブラッシュアップ講座（内容、アンケートなど詳細）	
研修① 都築 照代さん「えほんの読み方」	38
研修② 山口 育子さん「アドラー心理学に基づく“楽育”の子育て支援」	40
研修③ 高尾 明子さん「こどもの心を動かす体のレッスン」	42
研修④ 町村 純子さん「生後2ヶ月からの発達支援」	46
研修⑤ 木津 陽子さん「遠野のわらべうたに学ぶ」	50
研修⑥ 玉有 朋子さん「ファシリテーショングラフィック技能習得セミナー」	54
研修⑦・報告・ネットワーク会議 山口 清明さん 引野 里絵さん 村口 裕美さん	58
・連携講座 ① ② ③	62
・講座参加者人数まとめ	64

---

## ママぱれっと ～ママと赤ちゃんの居場所～

企画・運営 一般社団法人チカク  
〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町269-1  
電話 080-2900-8110  
メールアドレス ekinotikaku@gmail.com